

第七十九回帝國議會 院 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件 委員會議錄(速記)第四回

付託議案 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)(第一號) 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)(第二號) 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)(第三號) 高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)(第四號) 作業會計法中改正法律案(政府提出)(第六號) 勞働者年金保險特別會計法案(政府提出)(第七號) 昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第八號) 昭和十五年法律第七號中改正法律案(造船局東京出張所ノ廳舎工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)(第九號) 昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(印刷局振置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)(第一〇號) 昭和十五年法律第七十九號改正法律案(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金融特別會計法及海軍工廠資金融會計法ノ臨時特別ニ關スル件)(政府提出)(第一一號) 海軍工廠資金融會計法中改正法律案(政府提出)(第二號) 帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)(第一四號) 昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)(第一五號)

會議 昭和十七年一月二十七日(火曜日)午前十時 二十六分開議 出席委員左ノ如シ 委員長 守屋 榮夫君 理事長 國三郎君 理事片岡 恒一君 理事國光 五郎君 理事片山 哲君

飯田 助夫君 大内竹之助君 沖島 鎌三君 川副 隆君 北村 文衛君 田代 正治君 津倉 龜作君 服部 英明君 岸田 正記君 松井 郡治君 松岡 俊三君 三木 武夫君 渡邊玉三郎君 木曾三四郎君

服部 岩吉君 井上 良次君 須永 好君 眞鍋 勝君 出席國務大臣左ノ如シ 農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君 出席政府委員左ノ如シ 企畫院部長 龜山 孝一君 大藏次官 谷口 恒二君

大藏書記官 日下部 滋君 拓務省拓北局長 今吉 敏雄君 保險院長官 楠貝 詮三君 保險院總務局長 歌田 千勝君 保險院社會保險局長 木村 清司君 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案

第六類第一號 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件 委員會議錄 第四回 昭和十七年一月二十七日

支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

作業會計法中改正法律案(政府提出)
勞働者年金保險特別會計法案(政府提出)
昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年法律第五十三號中改正法律案(印刷局据置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)

昭和十五年法律第七十九號改正法律案(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル件)(政府提出)

海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)
帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)
昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ閉キマス、昨日引續キ本委員會ニ付託サレマシタ各法律案ニ付キ質疑ヲ行ヒマス——井上良次君
○井上(良)委員 私ノ質問スル政府委員ガ見エテ居リマセヌカラ一寸待つテ下サイ

○守屋委員長 ソレデハ今次官ガ見エマシタカラ——井上君

○井上(良)委員 私ハ主トシテ勞働者年金保險特別會計法ニ關聯ヲ致シマシテ、質問ヲスル積リデゴザイマスガ、其ノ前ニ公債消化ノ問題ニ關シマシテ、大藏當局ノ所見ヲ伺ツテ置キタイノデゴザイマス、今回ノ大東亞戰爭ノ將來ノ見透シニ付キマシテハ、政府當局モ是ガ長期戦ニナルト云フコトヲ申シテ居リ、又國民モ其ノ覺悟デ居ルノデアリマスガ、而モ此ノ戰爭ノ領域ハ世界戰史ニ會テナイ歴大ナ領域ニ於テ戰爭ガ遂行サレテ居ル、又世界デ一番金ヲ持つテ居ル國、一番生産力ヲ持つテ居ル國、古クカラ世界ヲ支配シテ居ツタ國、ソレヲ相手ニシテ長期ニ戰ヒ拔カナケレバナラヌ我ガ國ト致シマシテ當面スル重要ナ問題ハ、私ハ二ツアルト思フ、一ツハ長期戦ニ耐ヘ得ル國民ノ體力ヲ如何ニシテ確保スルカト云フ問題ガ、一番重要ナ問題デアリマス、ソレト共ニ此ノ長期戦ヲ戰ヒ抜イテ行ク爲ニ、ビクトモシナイ國家財政ノ基礎ヲ確立スルコト云フコトデアリマス、此ノ國家ノ財政ノ基礎ヲ確立スルコト云フコトニ關シマシテハ、支那事變ガ始リマシテ以來今日マデ、大藏當局ハ實ニ涙グマシイ努力ヲ重ネラレテ居ルノデスガ、私共國民ノ立場カラ大藏當局ノ財政政策ヲ見テ居リマス、舊態依然トシテ資本主義的ナ臭ヒガ抜ケ切ラナイヤウデアリマス、即チ歳入ノ重點ヲ公債主義ニ置クト云フ此ノ考ヘ方ガ抜ケ切レナイト思フ、公債ト云フモノハ返済シナケレバナラヌモノデス、利子ヲ附ケナケレバナラヌ、今日ノ戰爭ハ金儲ケノ爲ニ戰爭ヲシテ居ルノデハナイ、第一線ニ戰ヒツツアル兵

隊サンハ金儲ケノ爲ニ戰爭ヲヤツテ居ルノデハナイ、然ルニ此ノ戰爭ヲ賄フ所ノ國家ノ財政ノ一番大キナ歳入ハ、金利ヲ拂フ公債デアアル戰費ノ金利ニ依ル公債ニ依ツテ賄ハナケレバナラヌト云フコトハ一體何シト云フ財政ノ立テ方デアアルカト云フコトニ付キ私共國民ハ非常ニ疑問ニ思ツテ居ルノデアリマス、サリナガラ一度ニ國民ノ總テニ重イ負擔ヲ掛ケルコトハ困難デアリマセウカラ、斯ノ如キ政策ヲ立テラレテ居ルノデアリマセウガ、此ノ際政府ハ最前私ガ申シマシタヤウニ、又政府モ唱ヘテ居リマスヤウニ、容易ナラヌ長期戦體制ヲ整ヘナケレバナラヌ、國家財政ニ於テモ毎年龐大ニナツテ行キマス所ノ一般會計及臨時軍事費ノ豫算ニ當面シテ、唯公債ヲ以テ埋合ハシテ行クト云フヤリ方ヲヤメテ、モツト根本的ニ國民ノ生活ト其ノ運命トニ結付イタ財政計畫ヲ立テル必要ガアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

此ノ點ニ關シマシテハ、昨年モ豫算總會ニ於キマシテ大藏大臣ニ質問ヲ致シタノデゴザイマスガ、毎年ドン／＼／＼公債ガ殖エテ行ク、サウシテ是ガ消化ノ爲ニ、非常ナ骨ヲ折ラレル、國民モ亦之ニ協力シテ居ル、併シナガラ公債ガ殖エレバ殖エル程、公債金利ト云フモノハ殖エテ行クノデアリマス、サウシテ其ノ結果ハ浮動購買力ヲ高メ、所謂惡性「インフレ」ノ危險ガ高マツテ行ク、之ヲ抑ヘナケレバナラヌ、ソコデ政府ノ方デハ此ノ公債ノ増發ニ伴ウテ、公債ノ消化、國民貯蓄ノ獎勵、浮動購買力ノ吸收ト云フモノニ非常ナ努力ヲ拂ハレテ居ルト云フコトハ、最前私ガ申シタ通りデアリマスガ、又畏クモ上 陛下ニハ先日大藏大臣ヲ召サレマシテ、

此ノ公債ノ消化、國民貯蓄ノ狀況ニ對シテ大御心ヲ注ガレ給ヒマシテ、吾々下國民ト致シマシテ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。吾々ハ此ノ公債消化、浮動購買力ノ吸收ノ爲ニ官民一體トナツテ一層ノ努力ヲ拂フコトガ大御心ニ應ヘ奉ルコトニナルノデス、故ニ私ハ此ノ浮動購買力ノ吸收、戰時公債ノ消化、同時ニソレニ伴ウテ國民體位ノ確保ト云フ見地カラ、此ノ際民間生命保險會社ヲ國營ニ致シマシテ、國民ノ所得收入ニ應ジテ一定ノ基準ヲ設ケテ全國民ヲ強制加入セシメルト云フコトガ此ノ際絕對ニ必要デアラウト思フノデアリマス

私ノ調べタ所ニ依リマス、民間生命保險會社ノ一箇年間ノ保險契約高ハ、六十億餘圓ニナツテ居リマス、サウシテ其ノ保險收入料金ハ、一箇年約十億圓ニナリマス、之ヲ若シ其ノ國民所得收入ニ一定ノ基準ヲ設ケテ強制加入スルコトニ致シマスナラバ、我ガ國民ノ一箇年間ノ所得ヲ假ニ三百億ト推定ヲ致シマシテ、其ノ二割ヲ保險料トシテ徵收スルト、大體六十億ノ保險料金ガ、國庫ニ入ルノデアリマス、サウシテ此ノ保險料金ハ、被保險者ガ不幸ノ場合、死亡又ハ老衰シナケレバ拂フ必要ハナイノデアリマスカラ、毎年六十億ト云フ現金ガ國庫ニ入ツテ來ルノデアリマス、其ノ資金ヲ巧ク運用致シマスナラバ、國家財政ノ基礎ハ非常ニ固クナル、尙ホ國營後ノ生命保險ノ契約高ヲ綜合シマス、大體一千二百億位ニナル豫定デアリマス、私ガ此ノ保險會社ヲ國營ニスル必要ガアルト云フコトヲ主張致シマス理由ハ、現在ノ民間保險會社ノヤウニ、各社ガ濫立競争致シマシテ、其ノ競争ノ爲ニ競争費ヲ一年間ニ一億二、三千万圓位、

此ノ公債ノ消化、國民貯蓄ノ狀況ニ對シテ大御心ヲ注ガレ給ヒマシテ、吾々下國民ト致シマシテ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。吾々ハ此ノ公債消化、浮動購買力ノ吸收ノ爲ニ官民一體トナツテ一層ノ努力ヲ拂フコトガ大御心ニ應ヘ奉ルコトニナルノデス、故ニ私ハ此ノ浮動購買力ノ吸收、戰時公債ノ消化、同時ニソレニ伴ウテ國民體位ノ確保ト云フ見地カラ、此ノ際民間生命保險會社ヲ國營ニ致シマシテ、國民ノ所得收入ニ應ジテ一定ノ基準ヲ設ケテ全國民ヲ強制加入セシメルト云フコトガ此ノ際絕對ニ必要デアラウト思フノデアリマス

此ノ公債ノ消化、國民貯蓄ノ狀況ニ對シテ大御心ヲ注ガレ給ヒマシテ、吾々下國民ト致シマシテ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。吾々ハ此ノ公債消化、浮動購買力ノ吸收ノ爲ニ官民一體トナツテ一層ノ努力ヲ拂フコトガ大御心ニ應ヘ奉ルコトニナルノデス、故ニ私ハ此ノ浮動購買力ノ吸收、戰時公債ノ消化、同時ニソレニ伴ウテ國民體位ノ確保ト云フ見地カラ、此ノ際民間生命保險會社ヲ國營ニ致シマシテ、國民ノ所得收入ニ應ジテ一定ノ基準ヲ設ケテ全國民ヲ強制加入セシメルト云フコトガ此ノ際絕對ニ必要デアラウト思フノデアリマス

使ツテ居ルノデアリマス、國民ノ體位ニ重大ノ關係ヲ持ツテ居リマス公共的事業、デアアル此ノ生命保險會社ガ、時局下ニ競争ヲシテ、一億數千萬圓ノ金ヲ其ノ爲ニ無駄ニ使ツテ居ルト云フコトハ、實ニ怪シカラヌコトデアルト共ニ、又今日政府ノ資金調整令ノ發動ニ依リマシテ、民間保險會社ノ保有スル資金ノ運用ト云フモノガ、完全ニ其ノ妙味ヲ失ツテシマツタノデアリマス、民間保險會社ノ經營致シマス三ツノ大キナ條件ハ、一ツハ資金ヲ運用致シマシテ、ソレデ會社ノ利益ヲ上ゲルト云フコト、是ガ先ヅ一ツデアリマス、其ノ次ハ保險會社ノ經營ヲ合理化スルト云フコト、第三番目ハ被保險者ノ健康ヲ確保シテ死亡率ヲ低下スルト云フコト、此ノ三ツデアリマス、所ガ資金ノ運用ハ、最前申シマシタヤウニ、資金調整令ニ依ツテドウニモナラヌ、經營ノ合理化ト云ヒマスケレドモ、保險會社ノ事務ハ非常ニ簡潔デゴザイマシテ、單ニ被保險者ノ加入者募集ヲ中心ニスル事業ニ於キマシテハ合理化ノ方法ガ付カナイ、合理化ト云ヘバ、ドウシテモ各社ヲ合同サセナケレバナラヌト云フコトニナリマス、第三番目ノ被保險者ノ健康ヲ確保シテ死亡率ヲ低下セシメテ行クト云フ此ノ事業ハ民間營利事業會社ノ仕事デアリマス、國家的ノ仕事デアリマス

スガ、私ハ此ノ生命保險會社ヲ政府ノ經營ニ移シマシテ、サウシテ國民ノ日々ノ生活活動ト云ヒマスカ、生産活動、或ハ國民ノ生命、運命ト云ヒマスカ、此ノ有難イ日本ノ國土ニ生ヲ享ケテ居ル吾々國民ガ、喜ビ勇ンダ生産活動ヲ致シテ行キマス其ノ生活活動ノ中ニ、生命ノ中ニ國家財政ノ基礎ヲ確立スル、此ノコトガ私ハ一番必要デアラウト考ヘルノデアリマス、斯クスルコトニ依リマシテ、一方ニ於テハ浮動購買力ヲ吸收シ、又此ノ資金ニ依ツテ政府ノ必要ト致シマス公債ヲ消化シ、且ツ國民ニ對シテ老後ノ準備ヲ政府ガ命ジルコトガ出來マスシ、此ノ事業ヲ經營スルコトニ依ツテ此處ニ色々々々ノ良キ結果ガ現ハレテ來ルノデアリマスガ、斯ウ云フ點カラ大藏省ハ此ノ際百尺竿頭一步ヲ進メマシテ、多少民間保險會社ノ方ニモ問題ハアラウト思ヒマスケレドモ、最近ノヤウニ保險會社ガ企業合同ヲナシ且ツ資金ノ運用ガ巧ク行カナクナツテ來マスト云フト、國家ガ少シ強イ力デ相談ニ乗出シマスナラバ、必ズ私ハ買收ニ應ジルダラウト考ヘテ居リマス、假ニ之ヲ買收スルコトニ致ストシテ、ドノ位金ガアツタラ宜イカト云ヒマス、大體二億五千萬圓アレバ總資産全部ヲ買收スルコトガ出來ルノデアリマス、其ノ二億五千萬圓ト云フ金ハ何處カラ出スカト云ヒマス、最前申シマシタヤウニ、現在ノヤウニ各社ガ競争致シマス爲ニ競争費ガ一億五六千万圓掛カル、更ニ各社ノ利益ガ一年間一億二、三千万圓アルト睨ンデ居リマスノデ、各社ノ競争費ト利益金ヲ合セタダケ約三億圓近イ金ガアルノデアリマス、ダカラ政府ガ之ヲ買收致シマシテモ其ノ買收シタ翌年度ニ

於テ直チニ買收費ハ浮イテシマフノデアリマス
以上述べマシタ見地カラ此ノ際政府ハ、一方勞働者ニ對シマシテハ後デ質問ヲ致シマス勞働者年金保險ニハ強制加入セシメ、或ハ又健康保險、職員保險、ソレノ強制加入セシメテ居リマス關係上、政府ハ更ニ大規模ナ見地ニ立ツテ民間生命保險全部ヲ國家ノ手ニ收メテ、國家財政ノ長期的確立ノ爲ニ圓ルコトガ此ノ時局下極メテ重要デハナイカト云フコトヲ考ヘマシタノデ、此ノ點ニ對スル大藏當局並ニ企畫院當局ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス
○谷口政府委員 只今井上サンノ御話ハ、我が國財政經濟各方面ニ互ツテノ洵ニ御卓見デアルト思フノデアリマス、御話ノ通りニ今回ノ戰爭ハ長期ニ互ルト云フコトヲ覺悟致サナケレバナラヌノデアリマシテ、是ガ爲ニハ國民ノ保險ト云フコトヲ考ヘル一方、國家ノ財政ニ付テ特段ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトハ御説ノ通りデアルト思フノデアリマス、國民ノ保險ト云フ問題ノ爲ニハ、昭和十七年度ニ於キマシテハ特ニ政府ノ政策ノ一重點ト致シマシテ、豫算其ノ他ノ上ニ於キマシテ出來ルダケノ措置ヲ講ジテ居リマスルコトハ、各豫算書等ニ付キマシテ井上サン既ニ能ク御承知ノコトデアルト思フノデアリマス、財政ノ鞏固ナル基礎ト云フ問題ニ付キマシテモ、本年更ニ増稅ヲ提案致シテ居リマシテ、既ニ戰前ニ比ベマスレバ租稅收入モ約六倍ノ額ニ達スルヤウナ狀況ニ相成ツテ居ルノデアリマス、併シ今後相當ノ金額ヲヤハリ公債ノ財源ニ依ツテ居リマシテ、是ガ消化ニ付キマシテハ懸命ノ努力ヲ致サナケレバナラナイト

云フ現狀デアルノデアリマス、就キマシテ此ノ間ニ處シテ保險ノ國營ト云フ問題ヲ御提起ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、只今色々詳細ナル數字ヲ擧ゲテ御話ニナリマシタ點ニ付キマシテハ、洵ニ御尤モナ點モ多イト思フノデアリマス、特ニ財政の見地カラ見マシテは貢獻スル所ハ非常ニ大キイ、尙ホ目下ノ狀況トシテハ、生命保險會社等ノ三ツノ仕事カラ考ヘテ、民營ニ任シテ置クヨリモ國營ニ移シタ方ガ宜シイト云フ點モ、洵ニ御卓見デアルト思フノデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ相當及ボシマスル影響モ多イノデアリマシテ、今日生命保險會社等ニ於キマシテモ一ツノ金融機關トシテ、公債ノ消化其ノ他ノ場面ニ相當貢獻シテ居ル點モナイコトハナイノデアリマス、併シサウ云フ現狀ニ於テ生命保險會社ガ國家財政上ニ貢獻シテ居ルト云フヤウナ場面ノミニ着目シナイデ、是ガ國營ノ下ニ於テ色々々々無駄ガ省カレテ、更ニモツト國家ノ財政ニ貢獻スル所ガアルト云フ御話デアリマスカラ其ノ點、竝ニ之ヲ買收シテ國營ニ移シタ後ニドウ云フ結果ニナルカト云フ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ極ク眞面目ニ研究致シマシテ、御説ノ點ヲ實行ニ移スコトノ可否ヲ調査致シタイト考ヘルノデアリマス
○井上(長)委員 企畫院總裁ガ見エテ居リマセヌガ、企畫院ノ方ガオイデニナツテ居リマスカラ、此ノ點ニ關スル御見解ヲ承ツテ置キタイノト、ソレカラ保險院長官モ見エテ居リマスカラ、簡易生命保險其ノ他ノ政府直營ノ保險ノ經驗カラ見マシテ、民間生命保險ヲ國營ニスルコトノ見透シヲ伺ヒタイ、實際是ハ役人サンノヤル仕事ニシテハ最モ簡

單デ、最モ手間ノ要ラナイ、被保險者ニ保險證書ヲ書イテ渡セバ宜イノデアリマスカラ、是程簡單ナ仕事ハナイノデアリマシテ、此ノ仕事ヲ政府經營トスルコトニ付テノ實際ノ見透シハドウカ、政府直營ノ保險ノ經驗カラ、民間生命保險ノ國營ニスルコトノ見透シニ付テ、保險院長官トシテノ御見解ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス

○龜山政府委員 只今井上サンカラノ御質問ニ御答ヘ致シマス、企畫院ト致シマシテハ、只今大藏次官カラ御述ベノ通りニ、民營生命保險國營移管ノ問題ニ付キマシテハ折角研究致シテ居リマス、是デ御承知ヲ願ヒマス

○總員政府委員 只今ヤツテ居リマス官營ノ保險ト民營ノ保險ハ——民營ノ保險ト申シマシテモ人ノ生命ニ關スル方面ト物ノ損害ノ方面トアリマシテ、其ノ間ニ餘程相違ガアルト思ヒマス、私等ノ方デヤツテ居リマス官營ノ保險ハ、人ニ關スル保險デアリマス、隨テ生命保險ト云フモノヲ民營ノ生命保險ヲ大體取ツテ考ヘマスレバ、今マデ私等ノ方デ保險ヲ經營致シマシタ經驗カラ技術的ニ申セバ、保險ハ比較的國營ニ適スルモノデアアルト思ヒマス、只今井上サンカラ御話ノヤウニ、保險ノ關係ニ於キマシテハ、運用ト云フコトト死亡率其ノ他事故ノ起リマス統計關係ト、アトハ其ノ事務ヲ執行スル所ノ費用ノ問題ダト思ヒマス、之ヲ官營ニ致シマスレバ、募集費其ノ他ノ點ニ於テハ非常ニ經濟ニナルト思ツテ居リマス、運管ノ點ハ從來ノ營利主義ノ時代ニ於ケル民間ノ運管デスト、是ハ官營ヨリハ遙カニ上廻ツテ有利ニ運管ガ出來ルダラウト思ヒマス、最近ニ至リマシテハドウ云フ風ニナ

ツテ居リマスカ、具體的ノコトハ正確ニハ存ジマセヌシ、又臆氣ニ知ツテ居ルコトハ此處デ申上ゲル限リデハナイト思ヒマスガ、恐ラクハ昔ヨリハ只今井上サンノ御話ノ如クニ、マヅイ状態ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、隨テ是ハ官營デヤリマスノニ非常ニ接近シテ參ツテ來テ居ルノデハナイカト思ヒマス、又死亡率ト申シマセウカ、ソレハ各種ノ福利施設ヲヤルコトニ依ツテ事故ノ發生ヲ非常ニ少クナラシメルコトガ出來ルト云フ點ハ、各民營會社デモ今日マデヤツテ居ルト思ヒマスガ、官營デヤリマス場合ニハ、更ニ一層徹底ヲ期スルコトガ出來ルノデハナカラウカト云フコトガ考ヘラレテ居リマス、サウ云フヤウナ諸般ノ點ヲ考慮シテ、而シテ是ハ又民間ノ經濟界ニ及ボス影響トカ、或ハ之ヲ國營ニ致シマス場合ニ——是ハ大藏當局ノ方デ主トシテ御考ヘニナルコトデアリマセウガ、財政關係等ヲ考慮セラレテ、茲デ最後ノ斷ヲ下スベキモノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、私ノ方ノ經驗カラ見タ國營ハ、ソナ所ヲ考慮シテ決定スベキモノデアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○井上(夏)委員 御親切ナ御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ之ヲ單ニ機械的、思付キデ言ウテ居ルノデハナイノデ、政府ノ方デ折角調査研究ガ、速カニ完結スル日ヲ待望致シマス尙ホ私ハ増稅或ハ公債ノ發行、之ニ對スル國民ノ心構ヘノ問題ニ付テ、政府ノ考ヘ方ヲ伺ツテ置キタイト共ニ、國民ノ心構ヘヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、ソレハ從來エテシテ増稅ヲ致シマス、高イ税金ヲ取ラレルト云フ、納稅報國ト云フ觀念カラ難レテ、何カ餘計ナ金ヲ取ラレルト云フ考ヘ

方デ此ノ有難イ日本ノ國ニ生ヲ享ケテ、幸福ニ暮シテ居ルト云フ感謝ノ念ヲ少シモ起サナイデ、唯税金ガ高クナツタラ高クナツタダケ、餘計ニ取ラレルト云フヤウナ考ヘ方、從來ノ資本主義的ナ「イデオロギー」カラ考ヘテ居ル國民ガ相當居ルノデアリマス、併シ今回大東亞戰爭ノ勃發ニ依リマシテ、前線將士ノ勇戰奮闘ニ感激シタ國民ハ、單ニ税金ダケデハナシニ、國防獻金其ノ他國家奉仕ノ活動ニ依リ、國家ニ御奉公ヲスル時デアルト云フコトヲ國民ハ決意致シテ居リマスカラ、政府ノ方デモ從來ノヤウナモノノ考ヘ方、從來ノヤウナ態度ヲ一擲サレテ、國民ト共ニ國家ノ難局ヲ乗切ルノダト云フ態度デ望ンデ貰ヒタイノデアリマス、公債ノ消化ノ實際ノ具體化ニ對シマシテモ、國民ノ自發的ナ協力ヲ出來ルダケ昂メナケレバナラス現在、市町村ノ隣組其ノ他ニ於テ公債ノ消化ニ色々協力ヲシテ居ル人々ノ行動ト云フモノハ、相手方ノ懐口工合モ生活状態モ考慮十分ニセズニ、兎毛角頭割デドンノ割當テ來マシテ、其ノ爲ニ國民ノ感情ヲ昂ブラシテ居ル所ガアルノデアリマス、其ノ公債ガ一體何ニナルカ、サウシテソレガドウ廻リ廻ツテ自分達ノ利益ニナルカト云フコトヲ能ク説イテ聽カスコトニ全力ヲ擧ゲナケレバナラスト思フノデアリマス、國民自ラガ此ノ難局ヲ背負ツテ立ツト云フ氣魄ヲ持チマスルナラバ、實際收入中、生活費ダケヲ除イテ全部ヲ公債ニ税金支出シテモ宜イト云フコトニナルト私ハ思フノデアリマス、ソコマデ財政當局トシテモ對策ヲ考ヘテ貰ハナケレバナラス、單ニ機械的ニ、天降的ニ、強制的ニ押付ケラレルヤウナ態度ハ改メナケ

レバナラス、是ハ參考ノ爲ニ申上ゲテ置キタイノデアリマス
次ニ私ハ勞働者年金特別會計法ニ關係致シマシテ二、三點質問ヲ致シタイノデアリマス、今日日本ノ勞働階級ハ大東亞戰爭ガ勃發致シマシテカラト云フモノハ、此ノ戰爭ニドウシテモ勝抜カナケレバナラスト云フ非常ナ決意ヲ以テ、前線將士ニ劣ラザル殉國的精神ヲ持ツテ、國家ノ重要ナル生産力増強ニ全精力ヲ注イデ居ルノデアリマス、此ノ時ニ國家ノ恩給ニモ比スベキ勞働者年金保險法ガ今年ノ一月ヨリ實施サレルコトニナリマシタコトハ、全勞働者ノ爲ニ私ハ非常ニ喜ビト致スモノデアルト共ニ、又此處マデ本法ノ施行ニ色々運ンデ戴キマシタ厚生省當局或ハ大藏當局ノ御努力ニ對シテ改メテ感謝ト敬意ヲ表シテ置キタイと思ヒマス、併シナガラ此ノ年金保險法ノ規定セル各條ニ互ツテ檢討致シテ見マスルト、保險給付ノ内容、ソレカラ受給期間ノ問題、是等ガ國家ノ軍人、官公吏ニ支給シテ居リマスル現行恩給法ニ比較シ、其ノ給付ヲ受ケルマデノ期間ガ非常ニ長ク、又支給金額モ極メテ少額デアリマス、此處ニ參考資料ヲ戴イテ居リマスガ、之ヲ見マスト鑛山ノ坑内夫ニ於テ十五年、工場勞働者ニ於テハ二十年ニナラナイト此ノ年金ハ貰ヘナイ、然ルニ政府ハ今回本議會ニ對シテ大東亞戰爭ノ現狀カラ、現行恩給法ガ適當デナイト云フ理由デ、是ガ改正案ヲ當議會ニ提出致シテ居リマス、ソレハ受給マデノ期間ノ短縮ヲ圖ラントシテ居ルノデアリマスガ、日夜軍需其ノ他國家重要産業ニ全生命ヲ打込シテ勤勞報國ノ精神ヲ以テ勤勞ニ從事シテ居リマス勞働者年金保險

ダケハ、其ノ受給マデノ期間ガ非常ニ長イ、サウシテ今申シタヤウニ給付金額ニ於テモ非常ニ少イ、是デハ政府ガ勞働者ニ呼掛ケマス生産力ノ増強ニ全力ヲ打込メ、前線將士ニ劣ルカト云フ此ノ言葉ハ、實際ニ此ノ年金保險ノ内容カラ見マス、觀念的ニソレヲ勞働者ニ叫ビ、呼ビ掛ケテ居ルヤウニシカ思ヘナイ、恩給ノ受給期間ハ前線後ニ拘ラズ之ヲ短縮スルト言ウテ居ル、勞働者ノ年金保險ハ二十年デモ十五年デモ構ハヌト云フノデハ、勞働者ハ感情ヲ悪クスルカラ政府ノ方デハ此ノ際御考ヘテ願ヒマシテ、國家ノ恩給ニ比スベキ勞働者年金デアリマスカラ、此ノ受給マデノ期間ヲ短縮スルコト、同時ニ給付金額ヲ増額スルト云フコトニ付テ一ツ御考ヘテ願ヒタイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス。

○總員政府委員 井上サシニ御尋ヲ戴イテ居ルト申シマスヨリハ、私ハ御叱リヲ受ケタト拜聽ヲ致シマスガ、確カニ官吏ヤ軍人ノ恩給ニ比シマシテ、勞働者年金ノ受給ノ爲メノ勤務年數ガ長過ギル——比較シテ見ルト長イコトニナツテ居リマスガ、官吏ヤ軍人ノ方ニ於テモ少シ短クシ過ギタト云フノデ、年々——年々デモアリアセマスガ、機會アル毎ニ延バシマシタヤウナ譯デ、理想カラ致シマスレバ、割合長クヤウテ居ツテサウシテ初メテ貰フ、併シナガラ愈、貰フ時ニハ本當ニ爲ニナルダケ貰フト云フコトガ是ガ理想デナケレバナラス、但シ此處デ考ヘナケレバナフコトハ、勞働者年金法ニ於テハ——是ハ勞働者年金法バカリデナク各種ノ保險ガ皆サウデアリマスガ、大體ニ於テハ自力ヲ主トシテ生活安定ヲ圖ル、斯ウ云フコト

ニ主眼ガ置イテアリマス、隨テ勞働者自體ノ負擔ト云フモノモ、年數ヲ短ク致シマスレバ負擔ガ増サザルヲ得ナイト云フ結果ニナリマスノデ、勞働者年金法ヲ昨年作リマスニ付テモ、物價ハ高クナツテ來テ居ル、其ノ上ニ掛金ヲ負擔スルト云フノデハ、中敵ハヌト云フヤウナ聲モ隨分聞キマシタ譯デ、是ハ此ノ時局柄勞務者ノ諸君ニモ大イニ御國ノ爲ニ働イテ貰フガ、此ノ方面デモ大イニヤツテ行キタイト云フヤウナ掛聲デ昨年色々スウ云フ制度ヲ御協議願ツタノデアリマスガ、其ノ上ニ餘リ一時ニ多クノ負擔ヲサセルト云フコトモ中々考ヘモノデアリマスカラ、ソコデ年數ノ方ヲ官吏恩給ナドヨリモ稍、延バン、隨テ掛金ノ方ヲ少クシテヤツテ參ツタト云フヤウナ實ハ狀態デアリマシテ、現在ニ於キマシテハ確カニ違ツテ居ル、本年又恩給法ガ改正セラレテ遺族ヤ何カノ恩給給付ガ非常ニ良クナツタヤウニ承ツテ居リマスガ、サウ云フ手前、コチラノ方モ直グニ給與ヲ殖ヤセバ結構デアリマスガ、同時ニ負擔ガ増スト云フ關係ガアリマスカラ、サウ云フ譯ニ行カナイ、ソレニ又本年一月ニ漸ク實施シ掛ケタト云フヤウナ狀態デアリマスカラ、暫ク之ヲ實行シタ上デ、負擔其ノ他ノ關係ヲ考慮致シマシテ別途運用デモ旨ク行キマスレバ、ソレニ依ツテ福利施設ナドノ方ニ向ケルトカ、或ハ又各事業主ナドノ方ヘ話ガ付キマスレバ、福利施設ナドノ別途ニ施設ヲシテ貰フヤウニ、中へ入ツテ努力致シマシテ、サウ云フヤウナコトデ、是ハ全然別ノ方面デアリマスケレドモ、今ノ保健給付ノ比較的少イコトノ補ヒヲ付ケルト云フヤウナコトモ考ヘテ行キタイ、是ハ

年金法ノ上ニ現ハレテ來ル事柄ヂヤアリマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ方面デ多少ノ補ヒヲ付ケテ行クト云フヤウナコトモ考ヘテ考ヘラレヌコトデハナカラウト云フ風ニ思ツテ居リマス。

○井上(實)委員 此ノ年金保險法ハ其ノ制定ニ當リマシテ政府ノ説明理由ニ依リマスルト、同一職場デ勞働者ガ出來ル限り安定シテ仕事スルト云フコト、一ツハ浮動購買力ヲ吸收スルコト、第三ニ勞働者ノ老後及ビ不具、廢疾ニ對シテノ相互扶助機關トシテ此ノ保險ヲ利用スルト云フコトデアリマス、一番重大ナ問題ハ優秀ナル勞働者ガ工場カラ工場へ移動シテ行クトコトヲ防グ、同一職場ニ長ク勤勞シテ貰フト云フコトガ眼目デ、ソレカラ資本家、勞働者側ノ掛金ガ一年間約三億圓アルト睨ンデ居リマス、是ガ多少デモ浮動購買力ノ吸收ニナルト云フ見地ニ立ツテ居ル、サウシマス、是ノ年金保險ハ勞働者ノ相互扶助機關デアルト云フ見地カラ、單ニ政府ノ方ハ此處ニモ書イテアリマスヤウニ「事務費及保險給付ニ要スル費用ノ中、坑内夫ニ關シテハ其ノ一割、其ノ他ノ者ニ關シテハ其ノ一割、事務費ノ一割シカ負擔シナイト云フコトニナツテ居ル、官公吏、軍人ニ支給スル國家ノ恩給ハ全額國家負擔デアリマス、此ノ點ハ勞働者ニ與ヘル印象ハ非常ニ惡イノデス、厚生省當局ハ今日勞働階級ニ對シマシテハ、生産力増強ニ對シテ非常ニ激勵ヲ與ヘテ居ル、増産運動ヲ起シテ、増産ニ優秀ナ成績ヲ擧ゲタ事業主及ビ勞働者ニ對シマシテハ、勞働章ト云フモノヲ新タニ制定致シマシテ、厚生大臣自ラ總理大臣官邸ニ於テ、是等優秀ナル模範事業主及ビ勞働者ニ對シテ國家

ノ勳章ニモ比スベキ勳章ヲ與ヘテ居ル、ソレ程勞働者ガ今日大東亞戰爭ヲ遂行シテ行ク上ニ重要ナ銃後ノ生産力ヲ握ツテ居ルト云フ見地カラ考ヘ、政府ハ更ニ一歩ヲ進メテ、單ニ事務費ノ一割ヤ二割位負擔シテ、ソレデ勞働者年金ヲ作ツテヤツタナドト云ハレタラ、實際嗤ハレマスヨ、積極的ニ政府ガ負擔ヲスベキデス、田舎ノ農民ガ米ガ作レヌト云フト、米ノ増産ノ名ノ下ニ何千萬圓、何億圓ト云フ金ヲ政府ハ出シテ居ルデハナイカ、政府ハ一石餘計作ツタラ現金五圓ヤルト云フ法律ヲ出シテ居ルデハナイカ、勞働者ニ本當ニ元氣ヲ出シテ働イテ貰フ爲ニ、僅カ一割ヤ二割位ノ金ヲ支出シテ、サア働ケト云ツテモ、勞働者ハ感激シナイノデアル、ソコデ私ハドウシテモ將來ニ對スル保險經營ノ色々ナ觀點カラ、直チニ受給期間ノ短縮、或ハ給付金額ノ増額ガ此ノ保險經濟ニ於テ難カシイト云フ見透シガアリマスナラバ、政府ガ之ニ對スル相當ノ補助金ヲ一定期間支出スル必要ガアルト思フ、サウ云フ運動ヲ一ツ厚生當局ハ大藏當局ニ致シタラドウカト私ハ考ヘル、是ハ相互扶助機關デアツテ、政府カラハ僅カバカリシカ金ガ出ナイ、唯法律ヲ拵ヘテヤツテ其ノ手續ノ爲ニ金ヲ一寸出シテヤルダケデ、アトハ全部勞働者ト資本家トデヤツテ居ルノデスカラ、サウシマス、政府ノ方カラモツト金ヲ出シテ呉レタラドウカト思フ、官吏、軍人ニ對シテハ全額國家ガ負擔シテ居ル、勞働者ハ全額負擔シテ呉レト云フテハ居ナイ、セメテモウ少シ割ノ好イヤウニ、政府ノ資金デ以テ是ガ賄ヘテ行ケルヤウニ、補助ヲモツト餘計支出スルヤウナ運動ヲシタラドウカ、サウ云フ要求ヲ大藏

省ニ致シテ見タラドウカ、斯ウ考ヘルノゾアリマスガ、事務當局デアリマス保險長官トシテハ、ドウ御考ヘデアリマスカ

○福貝政府委員 御説ノヤウニ確カニ官吏ヤ軍人ノ方ハ國庫納金ト云フモノヲ致シマスケレドモ、是非非常ニ少イ、ソレカラ労働年金ノ方ニ於キマシテハ、國ノ方デ負擔スルモノハ事務費ダケト云フヤウナコトデ、

給付金ニ付キマシテハ全ク労働者、企業家ノ方面ノ醸出ニ俟ツダケデアリマシテ、國ノ方カラモ出シテ居リマスルガ、多少官吏ヤ軍人ト労働者トノ關係ニ於テ其ノ點ガ違

ツテ居ルノチヤナイカト思ヒマスルノハ、官吏ヤ軍人ノ方ハ國ノ仕事ヲヤル、即チ直接ノ國ノ働キ手ト云フ譯デアリマス、労働者ノ方面ハ間接ノ國ノ働キ手デハアリマスケレドモ、

直接關係ニ於テハ、事業ノ働キ手ト云フコトニナリマシテ、幾ラカ其ノ間ニ相違ハアルト思ヒマス、思ヒマスガ、今御話ノヤウニ、

是ハ此ノ際労働ノ國ニ對スル貢獻ト云フコトカラ考ヘテ見テ、モツト出シテモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御説モ確カニ十分一考スベキ事柄ト思ツテ居リマス、

思ツテ居リマスガ、何分ニモ昨年制度ヲ拵ヘテ、今年實行ト云フ譯デ、マダ事務當局ト致シマシテハ大藏省ニ國費ヲ増シテ貫ヒタ

イト云フ請求ヲスルコトモ如何デアラウカ、又實際問題トシテ一寸不可能デゴザイマス、

サウ云フ譯デ本年モ非常ニ御満足ノ行クヤウニ特別負擔ノ増額ヲ要求シタ譯デモアリマセヌノデシテ、

兎ニ角健全ニ之ヲ育テテ行ツテ、ソレカラ先又サウ云フ機會モアラウカト思ヒマスケレドモ、

差當リト致シマシテハ兎ニ角生シタノデスカラ、生シタモノヲ一應育テテ行カナケレバナラス、

斯ウ云フ考ヘテ持ツテ居リマス、ソナヤウナコトデマダ今ノ御話ノヤウナコトハ、十分ニ考ヘテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス

○井上(良)委員 ドウカ其ノ點ハ慎重ニ御考ヘ御願ヒラシテ置キタイト思ヒマス

次ニ本案ノ第二條ニ規定シテアリマス福祉施設ノ問題デアリマスガ、

今政府ノ意見ヲ聽イテ居リマスルト、ドウモ受給期間ノ短縮、給付金額ノ増額ト云フコトハ中々困難ノヤウニ考ヘマスノデ、

此ノ福利施設ノ擴充ト云フ問題ガ極メテ重要ニナツテ來ルト思ヒマス、

本法第二條ニモ「福利施設費」ト云フ項目ガ出テ居リマス、

此ノ福利施設ト云フノハ一體ドウ云フコトヲヤラウト云フノカ、

サウシテ其ノ福利施設ニ要スル財源ハ一體何處カラ流用シテ來ルト云フノカ、之ヲ伺ツテ見タイ

○福貝政府委員 福祉施設ト申シマシテモ色々範圍ガ廣イ方面ニ互ツテ居リマスノデ、

年金ノ方ニ於キマシテ一、二考慮ヲ致シテハ居リマスガ、

具體的ニ今考ヘテ居リマスモノハ、老齡者ノ健康保護、或ハ其ノ生命、延長ト云フヤウナコトニ關スル施設、

ソレカラ老齡者ノ生活保護ニ關スル施設、例ヘバ老人「ホーム」ヲ造ルト云フヤウナ事柄デアリマス、

ソレカラ癩疾者ノ職業再教育ニ關スル施設、癩疾者ノ癩疾回復ニ關スル施設、

或ハ生活相談ニ關スル施設、老齡者癩疾者、遺族年金受給者ニ授産ヲスルトカ又ハ職業指導ヲスル施設ヲスルトカ、

或ハ保養慰安其ノ他生活上ニ關スル施設、災厄失業其ノ他窮迫ニ於ケル貸付ノ施設ト云ツタヤウナ事柄ヲ大體考ヘテ居リマス、

是ガ一遍ニ出來ルトハ無論申シ難イノデアリマシ

テ、是ハ財源ナドノ關係カラ來ル外ハナイト思ツテ居リマス、

其ノ外先程一寸觸レテ申上ゲタ譯デアリマスガ、

斯ウ云フヤウナ施設ガアルモノニ付キマシテハ、

私等ノ方デ何等カノ手段ヲ持チマスナラバ、

企業者ノ方ニ實際アル物ノ施設ナドニシテ貰フコトガ出來ルノデゴザイマス、

是ハ年金法ニモ現ハレテ居リマセヌシ、

法律ノ何處ニアルト云フ譯デアリマセヌケレドモ、

國ノ方デ斯ウシテ呉レ、其ノ代リ俺ノ方デ斯ウシヨウデヤナイカト云フヤウナ話合デ行

キ得ル施設モ相當ニアラウト思ツテ居リマス、

サウ云フヤウナ力ヲ持チタイト云フコトモ餘程アリマス、

是ハ實際ノ給付ガ法定化サレタ四角四面ノ給付ノ外ニ、

斯ウ云フヤウナ所デ餘裕ガ付ク譯デアリマスガ、

其ノ外尙ホ當面ノ例ヘバ資金運用ト云フヤウナコトカラ多少餘裕ガ出來マシタラバ、

ソレカラ此ノ方面ニ廻ハス餘地ヲ作りタイト實ハ考ヘテ居ツタヤウナ譯デアリマス、

ソレガ十分ニ出來得ルカドウカト云フコトニ付テハ、

工夫モシ懸念モ致シテ居ル譯デアリマスガ、

ソレ等ヲ寄セ集メテ是ガヤツテ行ケルト云フ風ニ考ヘテ、

昨年モ申上ゲ、只今モ申上ゲタヤウナ事柄ヲ考慮致シテ居ツタヤウナ譯デアリマス、

財源ニ付キマシテハ、

今是ガ爲ノト云フ法律的ナ根據ヲ以テ、給付金ノ中幾ラト書イテ、

之ニスルノダト云フヤウナコトハ致シテ居リマセヌ、

大體ハ各被保險者ノ方ニヤル金ナリ或ハ其ノ他ノ給付ナリト云フモノヲ其ノ掛金ノ中ニ入

レテ置イテ、

今言ツタヤウナ施設ノ方ニ使フ金ヲ掛金ナラ掛金ノ中カラドレダケ出スト云フ風ニ特別ニハ致シテ居リマセヌ

○井上(良)委員 福利施設ノ擴充ノ問題ニ

關聯致シマシテ、

便郵年金或ハ又簡易保險、國民健康保險、

労働者健康保險、船員保險ト色々ゴザイマスガ、

是等各保險トモソレソレノ福利施設、

厚生施設ヲ持ツテ居リマス、之ヲ一ツ統合シテ、

地域的或ハ職業別的、産業別的ト云フカ、

ソレソレノ適地適業ノ福利施設ヲ擴充シテ行クコトガ必要デハナイカト云フコトヲ參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、

子弟ノ獎學資金制度ト云フモノヲ別個ニ設ケテ賞ヘヌカト言フノデス、三千万圓ト致シマスト三分五厘ノ國債ノ利子ト同ジ利子ヲ計算シマス、國庫デ大體百五十萬圓ヲ毎年負擔シテ貰ツタラ宜シイノデス、毎年三千万圓繰込ミマシテ、獎學資金ヲ持つツシマス、假ニ上級學校ニ入學スルニ付テ、一箇年平均致シマシテ三百圓ノ獎學資金ヲ要ストスル、サウスルト三千万圓デ十万人ノ獎學學生ガ出來ルノデアリマス、一年間十万人、勞働者ノ優秀ナル子弟ガ國民學校カラ上級學校ニ入ルコトノ出來ルノデアリ、十万人ガ此ノ三千万圓ノ獎學資金ニ依ツテ、毎年政府ガ百五十萬圓ノ補助ヲスルコトニ依ツテ、上ハ大學マデ卒業スルコトガ出來ル制度ガ出來ルノデアリマス、頭ガ良ク肉體健全ナルニ唯家ガ貧乏ナルガ故ニ上級學校ニ行クコトノ出來ナイ向學ノ勤勞者子弟ガ如何ニ巷ニ歎キ苦シンデ居ルカヲ吾々ハ能ク知ツテ居ルノデアリマス、是等向學ノ者ニ政府ノ御蔭デ、而モ親父ガ働イテ掛ケテ呉レタ保險金ノ御蔭デ吾々ハ大學ハ入學ガ出來ルノダ、サウシテ卒業後ハ國家ニ御奉公ガ出來ルノダト云フコトヲ全國ノ三百五十萬人ノ勞働者家庭ニ呼ビ掛ケテ御覽ナサイ、ソレハ政府ガ百萬圓羅動勞報國ノ精神ヲ強調スルヨリモ、モツト有效適切ナ效果ガ學ガリ得ルモノデアリマス、若シ本年カラ此ノ金庫ガ設立サレマシテ、此ノ金庫ノ運用ニ依ツテ上級學校ニ入學シタ者ガ今後大學ヲ出ルマデニ大體十箇年ノ年月ヲ要スルノデアリマス、十箇年後ニハ既ニ百万人ノ獎學資金ニ依ル勉學者ヲ持チ得ルノデアリマス、今日日本ハ大東亞戰爭ニ依ツテ、東亞共榮圈ノ指導者ヲ養成シ

ナケレバナラヌコトニナツテ居ル、頭ニ於テ、腕ニ於テ、肉體ニ於テ何レカ見テモ立派ナ指導者ヲ早急ニ育成シナケレバナラヌコトニナツテ居ル、此ノ時ニ只今ノ制度デハ金ガナケレバ大學ヲ卒業スルコトガ出來ナイノデス、其ノ時ニ此ノ勤勞者、被保險者ニ對シテ特別ナル設施ヲ設ケテ、新ナル獎學制度ヲ作りマスナラバ、十年後ニハ百万人ノ獎學學生ガ育英サレルノデアリマス、如何ニ國家的ニ、産業的ニ、又勞働者ニ與ヘル精神的ナ影響ノ上ニ、重大ナ意義ヲ持つカト云フコトヲ、政府ハ篤ト御考ヘヲ願ヒタイ、百万人ヲ育英スルノニ年々僅カ百五十萬圓ノ金サヘ出セバ出來ルノデス、斯ウ云フ席デ申上ゲルノハドウカト思ヒマスケレドモ、米國東洋艦隊ノ根據地デアルハワイノ海軍總指揮官ハ、聯合艦隊司令長官山本五十六大將デアアル、山本五十六大將ハ金満家ノ息子デアアリマセヌ、大地主ノ息子デアナイノデアリマス、生レナガラニシテ家貧ニシテ、上級學校ニ進ムコトガ出來ズ、長岡藩ノ獎學資金ニ依ツテ、彼ハ勉強シタト云フコトデアリマス、今日世界ヲ驚倒シテ、日本一億ノ國民ガ感激ノ源ヲ流ス戰果ヲ舉ゲシメテ司令長官、名提督タル山本五十六大將ハ、藩ノ獎學資金ニ依ツテ少年期ニ勉強シタ我ガ海軍ノ名將デアリマス、斯ウ云フ點ヲ私共ガ考ヘマス場合ニ、如何ニ多クノ勤勞大衆ノ子弟ガ上ノ學校ニ進ンデ學ヲ求メ、技術ヲ究メ、優秀ナル人材ニナラウトシテ努力シテ居ルカト云フコトヲ政府ハ能ク連觀サレテ、此ノ際斯クノ如キ金庫制度ヲ設ケルコトガ、時局柄極メテ重大デアルト云フコトヲ私ハ考ヘル、而モ是ハ此ノ年金保險特別會計ノ一部ニ依

ツテ出來ルノデアリマスカラ、是ハ何トシテモ保險院トシテ頑張ツテ貰ツテ、斯ウ云フ制度ヲ新タニ設ケテ貰ヒタイト思ヒマスガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、之ニ對シマシテハ保險院長官、同時ニ預金部ノ政府當局並ニ企業院ノ關係ノ方ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○**糧員政府委員** 只今ノ獎學資金ヲ勞働者ノ子弟ニ貸付ケルト云フヤウナ御工夫ハ、洵ニ良イ思ヒ付キダト敬服致シテ居ル次第デアリマス、獎學資金ト云フ譯デアリマセヌガ、私ノ方デヤツテ居リマス簡易保險ナドノ貸付ケニ於キマシテハ、被保險者ト申シマスカ、正當ニ言ヘバ保險契約者デアリマスガ、其ノ貸付要求ガアレバ、優先的ニ貸付ケラヌルト云フ風ニ、只今私ノ方デハ運用致シテ居リマス、ソレト同工異曲ナヤリ方ヤレバ、斯ウ云フ貸付モ出來ルコトト思ツテ居リマスガ、結果ハ恐ラク只今御話ノ通り、非常ニ好イ結果ガ生レテ來ル、少シ位ノ金ヲ唯給付シテ増シテヤルト云フヨリカ、遙カニ效果的デアラウト考ヘテ居リマス、唯ハ運用ニ關スルコトニナリマシテ、今度ノ特別會計ニ於キマシテハ、預金部ニ預ケ入レテ、預金部ガ運用スルト云フコトノ案ニナツテ居リマス爲ニ、私ノ方デ直接ニドウスルト云フコトガ此ノ儘デハ出來マセヌカラ、ドウ云フヤリ方ヤルカト云フコトニ付キマシテハ、大藏當局ノ方トモ御相談デアリマス、ソレノ如何ニ依リマシテハ、私ノ方デハドウスルコトモ出來ナイト云フヤウナコトデ、此ノ點ハ私カラハドウヤルカト云フヤウナコトニ付テ、一寸御答ヘガ致シ兼ネルノデアリマス、是ハ尙ホ預金部長官ガ御見エノヤウデアリマス

カラ、預金部長官ノ方カラモ御考ヘヲ御話下サルコトト考ヘテ居リマス

○**相田政府委員** 只今糧員保險院長官ヨリ答辯ガアリマシタヤウニ、勞働者年金保險特別會計ノ資金ハ、國債ニ運用サレルモノノ他ハ、大藏省預金部ニ預入ニナルノデアリマス、ソコデ只今井上サシノ御話ニアリマシタ獎學資金トカ、其ノ他勞働者ノ福祉施設ノ爲メ金ヲ使フト云フ點ニ關シテ申上ゲマス、結局ソレハ元金ヲ食フト云フ譯ニハ、行キマセヌノデ、運用利殖金ノ中カラサウ云フ施設ヲスルト云フコトト、モウ一ツハ或ハ其ノ元金ノ中カラ福祉施設ノ爲ノ、例ヘバ地方資金ヲ融通スルト云フヤウナ場合モアルカト考ヘラレルノデアリマス、後者ノ場合ニ於キマシテハ、勿論厚生省ノ御意見ヲ出來ルダケ尊重シテ、實行シ得ルヤウナ仕組ヲ考究致シタイト思ツテ居リマス、前者ノ場合、即チ運用利殖サレタモノノ中カラ、色々ナ福祉施設ノ財源ヲ生ミ出スト云フコトニ付キマシテハ、是ハ結局其ノ特別會計ノ預入金ヲドレダケニ廻シテ、ドレダケノ利息ヲドウ特別會計ニ拂フトカト云フヤウナ問題ニ歸着スルノデアリマス、ト一應考ヘラレルノデアリマスガ、尙ホ是等ノ點ニ付キマシテハ、私共事務當局ノ間ニ於キマシテモ、能ク研究ヲ致シタイト思ツテ居ル點デアリマスノデ、只今御述ベノヤウナ大キナ趣旨ノ點モ、今後十分頭ニ入レマシテ、保險院當局ト能ク協議ヲ致シタイト存ジマス、一應是ダケ御答ヘ申上ゲマス

○**井上(良)委員** 預金部長官ニ一寸モウ一寸伺ツテ置キタイ點ガアリマスガ、ソレハ此ノ法律ニ依リマス、最初私ガ申シマシタヤ

ウニ、労働者が營々トシテ働イテ掛ケマス
保險金ガ、年金保險特別會計法ニ依ツテ全
體ノ資金ガ運用サレズニ、其ノ一部ハ公債
ニナリ、公債以外ノ資金ハ預金部ノ運用資
金ニ廻サレル、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデ
アリマス、所ガ此ノ保險ト云フモノハ他ノ
政府保險、或ハ年金、其ノ他ノ社會保險ト
ハ多少性質ガ違フノデアリマス、多少ドコ
ロデハナク、考ヘ方ガ本質的ニ違フ、労働
者ノ相互的ナ自主的機關デアリマスノニ、
此ノ資金ヲ政府ノ都合ニ依ツテ他ノ資金ト
混同シテ管理スルト云フコトナラ、特別會
計ヲ作ル必要ハナイ、特別會計ノ運用資金
ト云フモノハ何モナイ、特別會計トシテ持
ツテ居ル金ヲ其ノ會計ニ於テ十分巧ク運用
スルヤウニ考慮スルコトガ必要デアアルニ拘
ラズ、政府モ是レノ公債ヲ持テト云ウ
テ、公債ハ買ハサレルワ、残ツタ金ハ預金
部運用委員會ニ於テ運用サレルワト云フコ
トナラ、特別會計ヲ設置スル必要ハ何モナ
イ、特別會計ヲ設置スルナラバ、特別會計
ガ一切ソレヲ運用スルヤウニシクラ宜イダ
ラウ、ソレヲドウ云フ必要デ預金部ニ流入
サセネバナラヌカ、ソコデ私ハ是ハヤハリ
特別會計トシテ別箇ニ管理シ、預金部運用
資金ニ廻ハシテハイカスト思ヒマス、特別
資金會計トシテ被保險者ノ利益ヲ圖ルト共
ニ労働者年金保險ノ名ノ下ニ政府ノ必要ト
スル公債ヲ消化スル、其ノコトハドウナル
カト云フト、結局労働者ノ名ノ下ニ於テ公
債ガ買ハレテ、其ノ公債ガ飛行機ニナリ、
戰車ニナリ、彈丸ニナルト云フコトヲ労働
者ニ意識サセナケレバナラヌ、是ハ非常ニ
大切ナコトデス、是ガ間違ツテハ大變ナコ
トニナリマス、斯クノ如クスルコトニ依ツ

テ労働者ハ自分デ自ラ飛行機ナリ、彈藥ナ
ル、戰車ナリヲ造リ、ソシテ其ノ働イテ得
タ金ニ依ツテ年金ガ掛ケラレ、ソレガ又集
マツテ全國ノ労働者ノ名ニ於テ公債ガ買ハ
レ、サウシテソレガ又戰車トナリ、彈藥ト
ナリ、飛行機トナツテ行ク、斯ウ云フコト
ニナルノデアリマス、ガカラ労働者ハ右手
ニ於テ現實ニ戰車、彈藥ヲ造ツテ居リ、同
時ニ又左手ニ於テ其ノ資金ヲ賭ツテ居ルト
云フコトニナル、此ノ考ヘ方ハ労働者ニ非
常ニ大キナ影響ヲ與ヘル、オ前達ガ一生懸
命ニ働イテ呉レタ年金保險デ買ツタ公債
ガ、是ダケノ飛行機ニ變ツタ、是ダケノ彈
ニ變ツタゾ、是ダケノ戰車ニ變ツタゾト云
フコトニ依ツテ、労働者ハ一層年金保險金
納入ノ成績ヲ擧ゲマセウシ、擧ゲレバ擧ゲ
ル程飛行機ヤ彈藥等ノ戰時公債ノ消化ノ能
力ガ出テ來マセウ、此ノ關係ハ廻ハリ廻ハ
ツテ居リマス、其ノヤウニ廻ハリ廻ハルモ
ノデアアルニ拘ラズ、其ノ金ヲコナラニ持ツ
テ來テ、俺ノ方デ勝手ニ運用スルノダト云
フ、成程預金部運用資金ハ今日ノ時局上重
要ナル方面ニソレノ使ハレテ居リマス、
決シテ私ハ無駄ナ方面ニ使ハレテ居ルトハ
考ヘテ居リマセヌ、國家ノ必要ナ方面ニソ
レゾレ按配シテ使ハレテ居ルト思ヒマス、
併シ年金保險資金ハ他ノ資金ト一緒ニシテ
使フト云フヨリモ、労働者ト云フ名前ノ下
ニ使ツテヤレバ、一層時局下生産力増強ノ
上ニ労働者ニ與ヘル精神的ナ影響ハ非常ニ
大キイト思ヒマス、斯ウ云フ點カラ是ハ何
トカ預金部運用資金ノ方ニ廻サズニ、此ノ
儘獨立シタ方ガ、私ハ年金保險ノ性質カラ
考ヘ、且ツ労働者ノ實際現場ニ於ケル活動
ノ士氣昂揚ノ見地カラ考ヘ、非常ニ效果的

デナイカト考ヘテ居リマス、得テシテ企畫
院其ノ他ニ於テハ、大キナ聲デ労働者ノ生
産力増強ニ對シテ、一生懸命呼ビ掛ケテ居
リマスケレドモ、問題ハ觀念論ノ氾濫デハ
ナイト思ヒマス、勤勞報國精神ヲ朝カラ晚
マデ何百遍繰返シタ所デ、現實ニ働イテ居
ル労働者ノ意志ガ振作サレズ、労働能率ガ
高マラズ、實際的ノ方向ニ指導セズニ、彼
等ノ生産ヘノ感情ヲ激發セズニ、單ニ勤勞
報國精神ヲ百萬遍説イテモ、ソレハ觀念論
トシテ一ツノ言葉ニ過ギナクナツテシマフ、
労働者ハ何モ言フコトヲ聽キマセヌ、本當
ニ労働者ニ今日ノ時局ヲ認識セシメテ、其
ノ労働意志ヲ振作セシメ、労働者ヲシテ一
層殉國的ノ氣持デ生産力ヲ高メシムル爲ニ
ハ、斯ノ如キ微妙ナ人情ノ籠ツタ考ヘ方ガ
絕對ニ必要デアリマス、此ノ點ハ政府ハ如
何ナル才題目ヲ唱ヘテモ、何ノ感情モ沸上
ツテ來マセヌ、逆ニ今私ガ説明ヲ致シマシ
タヤウナ觀點カラ之ヲ扱ヒマシタナラバ、
二倍、三倍ノ效果ガ現ハレテ來ルノデアリ
マス、斯ウ云フ點ニ對シマシテ、特ニ大藏
當局ノ御考ヘラツ承リタイ、同時ニ企畫
院トシテモ此ノ點ニ對シテハ御指示ヲ願ヒ
又保險院當局者ハ責任ヲ以テ、是ガ労働者
ノ新シイ生産力擴充ノ大キナ刺戟ニナルト
云フ見地カラ御考ヘラ願ツテ、是ハ特別會
計ノ方デ運用スル、預金部ノ方ニ持ツテ行
カナイヤウニ出來ナイモノカ、此ノ點ニ對
スル責任ノアル御答辯ヲ承ツテ置キタイ

○相田政府委員 只今井上サシノ御意見、
洵ニ傾聽致スベキ點モ多クアルヤウニ存ゼ
ラレルノデアリマスガ、是ハ非常ニ大キナ
政策ノ問題デアリマシテ、私共カラ御答ヘ
スルノハ或ハドウカトモ思ヒマスガ、只今ノ
御話ノヤウニ同ジコトヲヤルニシテモ、勞
働者ノ名ニ依ツテヤルト云フコトニ依ツテ
大イニ效果ヲ擧ゲルコトガ出來ルノデハナ
イカ、横ノ方カラソレヲ擧ツテ行クヤウナ
ヤリ方ハ、ドンナモノカト云フヤウナ御趣
旨ノヤウニ拜聽致シタノデアリマスガ、私
共カラ率直ニ言ハシテ載キマスレバ、此ノ會
計ノ仕事トシテ致シマス福祉施設其ノ他ノ事
業費ト云フモノハ、此ノ會計ノ保險料、一
般會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生ズル收
入金及ビ附屬雜收入ヲ以テ賄ハレルヤウニ
第二條ニ書イテアリマスノデ、結局此ノ積
立金等ノ運用ニ依ツテ生ズル收入金ガ、ド
ノ程度ニナルカト云フコトガ一番大事ナ點
デアルト思フノデアリマス、ソコデ之ヲ運
用スルニ付キマシテ此ノ會計ダケ獨立シテ
其ノ資産ヲ運用スル、最モ餘計ニ收益ヲ擧
ゲルヤウニ運用シマスレバ、自然福祉施設
其ノ他ニ使ヒ得ル金ガソレダケ多クナル譯
デアリマスガ、併シ今日ノ事態ニ於キマシ
テハ此ノ資金ノ運用ト云フモノハ、國家全
體ノ資金ニ付キマシテ出來ルダケ之ヲ國家
目的ニ照シテ能率的ニ運用スルト云フコト
ガ大事ナ時デゴザイマスノデ、其ノ意味ニ
於キマシテハ或ル事業ノ目的ノ爲ニ出來ル
ダケ餘計ニ收益ヲ擧ゲルト云フコトト、今
申シタヤウナ金融全般ノ統制ト申シマスガ、
或ハ資金ノ效率的ナ配分運用ト申シマスガ、
サウ云フモノトノ調和ヲソコニ取ツテ行カ
ナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、隨
ヒマシテサウ云フ意味ニ於テ本會計ノ資金
モ第四條ニ於テ國債ヲ以テ保有シ、又ハ大
藏省預金部ニ預入レルト云フコトニシテ預
金部ガ之ヲ一般的ニ他ノ資金ト共ニ統一
ニ最モ效率的ニ之ヲ運用スルト云フ建前ヲ

執ラレタモノト解釋致サレルノデアリマス、

ソコデ私共ハ例ヘバ其ノ金ガ公債ニナリ、ソレガ飛行機ニナリ、「タンク」ニナルト云フ例ヲ只今御舉ゲニナリマシタガ、其ノ場合ニ於テ、此ノ特別會計ガ自分デ運用スレバ

勞働者ガ自分ノ金デ飛行機ガ出來タ、「タンク」ガ出來タト云フ氣持ニナルノニ、預金部ニ集メラレテ、其ノ上デ公債ニナリ、ソレガ飛行機ニナリ「タンク」ニナルト云フ場合ニハ、其ノ感シガポイント來ナイト云フコトダラウト拜聴シタノデアリマスガ、願ハクハサウ云フ場合ニ於テモ一方ニ於テ資金ノ統一の運用ノ重要性ト云フコトヲ理解サレマシテ、預金部ノ資金モ何モ資本家ノ資金デモナシ、郵便貯金者バカリノ資金デモナイノデアリマシテ、ヤハリ勞働者ヲ含メ

タ全國民ノ資金デアツテ、其ノ資金ニ依ツテ生産力擴充モ行ハレ、公債モ消化セラレルト云フ氣持ニナツテ戴ケナイモノデアラウカト實ハ考ヘルノデアリマス

○井上(良)委員 企畫院ノ御意見ハドウデアス

○龜山政府委員 私中座シテ居リマシテ、御論旨ヲ全般ニ伺ヒマセヌノデ、何レ又速記録デモ拜見致シマシテカラ御答ヘ致シマス

○井上(良)委員 此ノ問題ハ預金部長官サングケデハ一寸難カシイノデハナイカト思ヒマス、何レ適當ナ機會ニ大藏大臣ノ御出席ヲ願ツテ——是ハ本會計ノ今後ノ運用ノ上ニ重大ナ問題ニナツテ行クノデス、同時ニ今マデアリマシタ厚生省所管ノ各特別會計ノ現金支拂ノ上ニ餘裕ヲ生ジタ場合ニ、其ノ餘裕ガ預金部ノ方ヘ預入レラレ線入レラレテ居リマスカ、此ノ點一寸伺ツテ置キ

タイ

○谷口政府委員 私今參ツタノデアリマスガ、井上サンノ御話ハ勞働者年金特別會計ノ積立金ノ運用ノコトノ御質問デアツタト思フノデスガ、吾々ノ方ノ政府委員カラ何ト御答ヘ申上ゲタカ存ジマセヌガ、吾々トシテ八年來總テノ資金ガ預金部ニ集ツテ來テ、一元的ニ運用サレルコトヲ非常ニ希望シテ居ルノデアリマス、併シ又ソレノ行

政ノ立場等ガアルノデアリマスカラ、サウ吾々ダケノ立場カラ物事ヲ一纏メニ纏メルト云フコトモ、之ヲ押通ス譯ニモ行カヌノデアリマス、是ハ實際ニ實行スルニ當リマシテ、ソレノ能ク相談致シマシテ、吾々ノ希望スルコトモ當該特別會計ノ立場トシテ幾分ソレニ協調シテ貰フ、同時ニ吾々モ當該ノ行政ニ大シク不都合ノナイヤウニ能ク相談シテ行クト云フコトニ實行シテ行キ

タイト思フノデアリマス、大藏大臣ガ同フト宜シイノデアリマスケレドモ、參リマシテモ大體サウ云フコトヲ申上ゲララウト思ヒマスカラ、此ノ程度デ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○井上(良)委員 大藏大臣ノ候補者トシテ次官ヨリ御答辯ヲサレタノデアリマスガ、今谷口次官ノ其ノ氣持ハ能ク分リマシタ、今日此ノ保險ノ設定セラレマシタ氣持、同時ニ又今日ノ時局ニ勞働者ヲ協力セシメル氣持、更ニ又一層生産力ヲ高メル其ノ氣持、サウ云フ考ヘ方カラ——其ノ法制的ナ行政的ナ趣旨デヤナイノデス、人情ノ微妙サデス、此ノ人情ノ細ヤカサヲ以テヤツテヤラナケレバ駄目ダ、ソコニ勞働者相互扶助ト、出來タ金デ、其ノ金ガ積立テラレテサウシ

テ國家ノ飛行機ニナリ、戰車ニナリ彈藥ニナル、ダカラ保險ヲウント掛ケロ、一生懸命働カウデヤナイカト云フ其ノ感情ガ、其ノ儘ビント其ノ會計ノ運用ニ依ツテ勞働者ニ響クヤウニシテ貰ヒタイ、ソレニハ他ノ預金ヲ運用シテ居ル預金部運用委員會ニ持ツテ行カレタノデハハツキリシナイ、ソレハ此ノ儘デ特別會計トシテ運用シテ戴キタイ、斯ウ言フノデス、ザツクバラニ言フト、ソコハアナタモ能ク分ツテ居ルノデア

ルカラ、是ハ第四條ハサウ云フコトニ訂正ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデス、サウ云フ大藏省ノ氣持モ能ク分リマス、全體ヲ纏メテ一ツツ持ツテ行カウ、サウシタラ一

番簡單デスカラ……併シサウハ行カヌノデス、ヤヤコシイ問題ガ餘計横ツテ居リマスカラ、サウ云フ點モ御諒承願ヒタイト思ヒマス

イマ一點伺ヒマシテ打切りマスガ、將來此ノ保險資金ヲ運用スルニ當ツテ、利益ガ出來ラダラウト思フ、此ノ利益金ト云フモノハ、本保險ノ給付ガ將來若シ不足スル場合ハ、此ノ利益金カラ補充スルヤウニスベキデアルト思フ、此ノ將來ニ對スル保險運用ノ利益金ノ處分等ニ付テノ見透シヲ伺ヒ

タイ

ソレカラ今一ツ、此ノ資金ノ運用如何ハ直接勞働者ニ及ボス影響ガ極メテ大キイノデアリマスカラ、勞働者側ノ意見ヲ尊重スル爲ニ、之ニ此ノ運用ニ對スル發言權ヲ與ヘルヤウニシタラドウカ、ソコデ政府ハ此ノ運用ニ對シテ何か特別ノ委員會ノ如キモノヲ設ケテ、勞働者側ノ代表ヲ發言ヲ求メルヤウニシタラドウカト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○樋貝政府委員 是ハ一部ハ大藏當局ノ方カラ御答ヘヲ願ツタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、一部ハ保險關係デモアリマスルノデ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、保險給付ニ付キマシテハ、可ナリ綿密ナル統計ノ下ニドレダケノ掛金ヲ貰ヒ、又ドレダケヲ給付ヲシテ行ケバ、ソレデ給付ニ付テハ心配ガナイト云フ細カイ計算ヲ致シマシテ算出ヲ致シテ居リマスカラ、給付自體ニ付テハ先ヅ心配ガナイ、斯ウ考ヘテ宜シイト思ヒマス、不足ヲ生ズルヤウナコトハナイト思ヒマス、ソレカラ運用ニ依リマシテ生ジタ利益ト云フモノハ、是ハ茲ニ會計法ニモアリマシヤウニ、福利施設ナドニ主ニ——固ヨリ事務取扱費タカ、或ハ營繕費ナドデ已ムヲ得ナイ支出ハ出シマスガ、其ノ他ハ其ノ方ヘ全部持ツテ行クベキモノト考ヘテ居リマス、現實ニドレダケ持ツテ行ケルカト云フコトハ、是ハ其ノ時々ニ考究シナケレバナラヌコトト思ヒマスケレドモ、行クベキ方向ト云フモノハサウ行カナケレバナラヌ、之ニ依ツテ別ノ方面ヘ勝手ニ使ツテ行クト云フコトデハナイト思ヒマス、是ハ二條ノ制限デ當然ナ話ダト考ヘテ居リマス

尚ホ特別委員會ニ付キマシテハ、假ニ此ノ會計ガ今日簡易保險ニアルガ如クニ、勞働年金ノ事務ヲ行ツテ居リマス所デ運用スルトスルナラバ、今御話ノヤウナ方面ノ人ヲ委員ノ如クニ入レマシテ、其ノ方面ノ諸種ノ事情ヲ拜聴モシ、又サウ云フ方面ノ要望其ノ他ノコトヲ十分ニ考慮ニ入レルデアリマスガ、其ノ點ハドウナリマスカ、預金部ニ預ケ入レマスルニ付テハ、是ハ是カラノ話合ヒモアリマスガ、ドウ云フ風ニ運用サレテ行キマスカ、私ノ方デ一寸申上ゲ

○樋貝政府委員 是ハ一部ハ大藏當局ノ方

カラ御答ヘヲ願ツタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、一部ハ保險關係デモアリマスルノデ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、保險給付ニ付キマシテハ、可ナリ綿密ナル統計ノ下ニドレダケノ掛金ヲ貰ヒ、又ドレダケヲ給付ヲシテ行ケバ、ソレデ給付ニ付テハ心配ガナイト云フ細カイ計算ヲ致シマシテ算出ヲ致シテ居リマスカラ、給付自體ニ付テハ先ヅ心配ガナイ、斯ウ考ヘテ宜シイト思ヒマス、不足ヲ生ズルヤウナコトハナイト思ヒマス、ソレカラ運用ニ依リマシテ生ジタ利益ト云フモノハ、是ハ茲ニ會計法ニモアリマシヤウニ、福利施設ナドニ主ニ——固ヨリ事務取扱費タカ、或ハ營繕費ナドデ已ムヲ得ナイ支出ハ出シマスガ、其ノ他ハ其ノ方ヘ全部持ツテ行クベキモノト考ヘテ居リマス、現實ニドレダケ持ツテ行ケルカト云フコトハ、是ハ其ノ時々ニ考究シナケレバナラヌコトト思ヒマスケレドモ、行クベキ方向ト云フモノハサウ行カナケレバナラヌ、之ニ依ツテ別ノ方面ヘ勝手ニ使ツテ行クト云フコトデハナイト思ヒマス、是ハ二條ノ制限デ當然ナ話ダト考ヘテ居リマス

尚ホ特別委員會ニ付キマシテハ、假ニ此ノ會計ガ今日簡易保險ニアルガ如クニ、勞働年金ノ事務ヲ行ツテ居リマス所デ運用スルトスルナラバ、今御話ノヤウナ方面ノ人ヲ委員ノ如クニ入レマシテ、其ノ方面ノ諸種ノ事情ヲ拜聴モシ、又サウ云フ方面ノ要望其ノ他ノコトヲ十分ニ考慮ニ入レルデアリマスガ、其ノ點ハドウナリマスカ、預金部ニ預ケ入レマスルニ付テハ、是ハ是カラノ話合ヒモアリマスガ、ドウ云フ風ニ運用サレテ行キマスカ、私ノ方デ一寸申上ゲ

テ國家ノ飛行機ニナリ、戰車ニナリ彈藥ニナル、ダカラ保險ヲウント掛ケロ、一生懸命働カウデヤナイカト云フ其ノ感情ガ、其ノ儘ビント其ノ會計ノ運用ニ依ツテ勞働者ニ響クヤウニシテ貰ヒタイ、ソレニハ他ノ預金ヲ運用シテ居ル預金部運用委員會ニ持ツテ行カレタノデハハツキリシナイ、ソレハ此ノ儘デ特別會計トシテ運用シテ戴キタイ、斯ウ言フノデス、ザツクバラニ言フト、ソコハアナタモ能ク分ツテ居ルノデア

ルカラ、是ハ第四條ハサウ云フコトニ訂正ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデス、サウ云フ大藏省ノ氣持モ能ク分リマス、全體ヲ纏メテ一ツツ持ツテ行カウ、サウシタラ一

番簡單デスカラ……併シサウハ行カヌノデス、ヤヤコシイ問題ガ餘計横ツテ居リマスカラ、サウ云フ點モ御諒承願ヒタイト思ヒマス

イマ一點伺ヒマシテ打切りマスガ、將來此ノ保險資金ヲ運用スルニ當ツテ、利益ガ出來ラダラウト思フ、此ノ利益金ト云フモノハ、本保險ノ給付ガ將來若シ不足スル場合ハ、此ノ利益金カラ補充スルヤウニスベキデアルト思フ、此ノ將來ニ對スル保險運用ノ利益金ノ處分等ニ付テノ見透シヲ伺ヒ

タイ

ソレカラ今一ツ、此ノ資金ノ運用如何ハ直接勞働者ニ及ボス影響ガ極メテ大キイノデアリマスカラ、勞働者側ノ意見ヲ尊重スル爲ニ、之ニ此ノ運用ニ對スル發言權ヲ與ヘルヤウニシタラドウカ、ソコデ政府ハ此ノ運用ニ對シテ何か特別ノ委員會ノ如キモノヲ設ケテ、勞働者側ノ代表ヲ發言ヲ求メルヤウニシタラドウカト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○樋貝政府委員 是ハ一部ハ大藏當局ノ方

カラ御答ヘヲ願ツタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、一部ハ保險關係デモアリマスルノデ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、保險給付ニ付キマシテハ、可ナリ綿密ナル統計ノ下ニドレダケノ掛金ヲ貰ヒ、又ドレダケヲ給付ヲシテ行ケバ、ソレデ給付ニ付テハ心配ガナイト云フ細カイ計算ヲ致シマシテ算出ヲ致シテ居リマスカラ、給付自體ニ付テハ先ヅ心配ガナイ、斯ウ考ヘテ宜シイト思ヒマス、不足ヲ生ズルヤウナコトハナイト思ヒマス、ソレカラ運用ニ依リマシテ生ジタ利益ト云フモノハ、是ハ茲ニ會計法ニモアリマシヤウニ、福利施設ナドニ主ニ——固ヨリ事務取扱費タカ、或ハ營繕費ナドデ已ムヲ得ナイ支出ハ出シマスガ、其ノ他ハ其ノ方ヘ全部持ツテ行クベキモノト考ヘテ居リマス、現實ニドレダケ持ツテ行ケルカト云フコトハ、是ハ其ノ時々ニ考究シナケレバナラヌコトト思ヒマスケレドモ、行クベキ方向ト云フモノハサウ行カナケレバナラヌ、之ニ依ツテ別ノ方面ヘ勝手ニ使ツテ行クト云フコトデハナイト思ヒマス、是ハ二條ノ制限デ當然ナ話ダト考ヘテ居リマス

尚ホ特別委員會ニ付キマシテハ、假ニ此ノ會計ガ今日簡易保險ニアルガ如クニ、勞働年金ノ事務ヲ行ツテ居リマス所デ運用スルトスルナラバ、今御話ノヤウナ方面ノ人ヲ委員ノ如クニ入レマシテ、其ノ方面ノ諸種ノ事情ヲ拜聴モシ、又サウ云フ方面ノ要望其ノ他ノコトヲ十分ニ考慮ニ入レルデアリマスガ、其ノ點ハドウナリマスカ、預金部ニ預ケ入レマスルニ付テハ、是ハ是カラノ話合ヒモアリマスガ、ドウ云フ風ニ運用サレテ行キマスカ、私ノ方デ一寸申上ゲ

兼ネマスカラ、大藏當局ノ方カラ御聴取リヲ願ヒタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ保險院長官ノ御話デアリマスガ、今後ノ運用ノ狀況ニ付キマシテハ保險院當局ト能ク十分打合セテ致シマシテ、只今井上サシノ仰セニナリマシタヤウナ御趣旨モ幾分通りマスルヤウニ能ク考ヘタイト思ヒマス

○井上(良)委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○守屋委員長 只今谷口政府委員カラ、本委員會ニ付託サレテ居リマス昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案中修正ニ關スル說明ヲ致シタイト云フ申出ガアリマス、之ヲ許シマス

○谷口政府委員 本委員會ニ付託ト相成ツテ居リマス昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ對シ修正ヲ加ヘルコトニ相成リマシタノデ、其ノ次第ヲ簡單ニ說明致シマス、目下當委員會ニ付託サレテ居リマス昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ハ既ニ御說明致シマシタル通り、昭和十七年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ計上セル經費ノ財源ノ一部トシテ十三億七千八百六十萬圓ノ公債發行ノ權能ヲ得ントスルモノデアリマスガ、今回別途提出致シマシタル昭和十七年度歳入歳出總豫算追加第二號ニ計上致シマシタル經費ノ財源ノ一部トシテ、更ニ一億二千九百三十萬圓ノ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、之ニ伴ヒ曩ニ提出致シマシタル昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案第一條ノ、公債ノ發行限度ヲ十五億七百九十萬圓ニ増加致ス必要ガアルノデ

アリマス、仍テ議院法第三十條ニ依リ本修正ヲ提出致シタ次第デアリマス

○守屋委員長 暫時休憩致シマシテ午後一時半カラ開會致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時五十分開議

○守屋委員長 午前ニ引續キ是ヨリ會議ヲ開キマス——松岡俊三君

○松岡委員 私ハ本會議ニ於テモ、又豫算委員會其ノ他ノ委員會ニ於テモ、今私ノ質問セントスル問題ニハ一ツモ觸レテ居ラナイヲ發見シテ頗ル遺憾ニ存ジテ、特ニ御忙シイ所ヲ大臣ノ御出席ヲ煩ハスニ至ツタ次第デアリマス、希クハ拓務大臣ハ國務大臣トシテ、私ノ質問ニ對シテ御答ヘヲ得タイト思フノデアリマス、先ツ質問ノ前提トシテ十七年度ニハ一般開拓民ノ送出ノ豫定數ハ何程デアルカ、又青年義勇隊ヲ送出ス十七年度ノ計畫豫定數ハ何程デアルカ、承リタイ

○井野國務大臣 十七年度ノ滿洲開拓移民計畫ハ豫算ニモ計上シテゴザイマルスガ、大體開拓民ガ一万五千、義勇青少年ガ一万二千、斯ウ云フ數字ニナツテ居リマス

○松岡委員 十六年度ノ滿洲開拓移民ハ一万六千戸、青年義勇隊ノ方ハ一万二千六百八十人ト存ジテ居リマスガ、是デ宜シウゴザイマスカ

○今吉政府委員 開拓民ハ轉業其ノ他ヲ加ヘマシテ大體ノ數ハ二萬一千戸位ト思ヒマス、青少年義勇軍ノ方ハ今御話ノ通り一万二千六百八十人デアリマス

○松岡委員 此ノ十七年度ノ開拓民送出ノ豫定ガ約一万五千、又義勇軍ノ送出ノ計畫

ハ一万二百人デアアル、此ノ問題ニ付テ實行可能ナリト拓務大臣ハ御考ヘニナツテ居リマスカ

○井野國務大臣 豫算ニ計上致シマシタ以上ハ、實行勿論可能ナリト信ジテ豫算ニ計上致シタノデアリマス

○松岡委員 私ハ遺憾ナガラ今日ノヤウナ情勢ヲ以テ參リマシタナラバ、此ノ計畫ガ頗ル難儀ニ陥リハセヌカト懸念スル次第デアリマス、ナゼナラバ猫モ杓子モ殆ド皆南方ヲ主張シテ居リマス、待望ノ東亞共榮圈ノ進展ト共ニ、南方ガ今日ノヤウナ情勢ニナツタノデアリマス、其ノ資源ハ豐富デアリ、其ノ氣候ハ滿洲方面ニ比較スベクモアリマセヌ、サウシテ戰果斯クノ如クデアアル、全世界ノ耳目ヲ聳動シタト同時ニ、國民ノ南方ニ對スル憧憬ト云フハ、是ハ實ニ名狀スベカラザル狀況ニナツテ居ルノデアリマス、人情トシテ皆イ物ヲ眺メテ之ヲ食ヒタクナイト云フヤウナ人ハナカラウト思フ、鼓太鼓デ國內ニ喧傳サレル南方ノ資源ノ豐富ナル所ヲ見セ付ケラレテ、之ニ想ヒラ到サザル者ハナカラウト思フ、此ノ時ニ當ツテ只今ノ豫算ニ計上シタル以上ハ、之ヲ必ズ實行スルノダト云フ其ノ大臣ノ御決意ハ、洵ニ私共ハ感激ニ堪ヘヌ次第デアリマスルケレドモ、事情ガ斯クノ如クデアアル、水ノ低キニ流レルノハ當然デアアル、斯様ニ南方ト北方ノ滿洲方面ノ開拓民ノ送出ト云フモノヲ比較研究スル時ニ於テハ實ニ容易ナラザルモノガアル、私ノ所見ヲ申上ゲマスレバ、鎖國時代ヲ脱却シテ開國日尙ホ淺イ我ガ日本國トシテハ、東西南北ニ悉ク進出センケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ進出セシムル上ニ於テ、適地主義ニ依リ能ク

氣候慣習ヲ參酌シテ、無駄ノナイヤウナ適合ニ國家ノ發展ヲ導イテ行カナケレバナラヌト思フ、斯様ニ考ヘマス時ニ於テ、北方方面、滿洲方面ヲ滿洲事變直後ニ於テノ計畫當時ト今日ヲ比較シタナラバ、モウ此ノ間ハ少クトモ五十年ノ時ガ經過シタ如クニ感ゼザルヲ得ナイ、或ハ五十年ヨリモ百年近イ變化ガアリハセヌカトサヘモ見ナケレバナラナイト思フノデアリマシテ、殆ド豫想シ得ナカツタ所ニ到達シテ居ルト存ジマス、所ガ今春閣議デ決定セラレタトシテ傳ヘラレル所ノ滿洲開拓第二期五箇年計畫ノ要綱ヲ見マス、此ノ殆ド五十年乃至百年位變化シタノデヤナイカト思ハル時ニ於テ、尙ホ滿洲事變直後ニ於テ執ツタ舊態依然トシタ所ノ開拓方針ヲ其ノ儘踏襲シテ行カウト云フヤウナコトデアリマシテ、是デハ只今モ申上ゲタヤウナ工合ニ水ハ低キニ付イテ流レルノハ當然デアアル、斯ウ云フ人情ノ上カラ考ヘテ、只今豫算面ニ現ハレタル所ノモノハ、實行スルノダト云フ御決意ハ結構デアリマスケレドモ、果シテ是ガ末梢ニ行ツテ各府縣ガ開拓民ヲ募集スルニ於テ、勧誘スル上ニ於テ、青少年義勇軍ヲ送出スルニ於テ、實際ニ出來得ルモノカドウカ私ハ頗ル懸念ニ堪ヘナイ、此ノ點ニ付テモウ一回御所見ヲ承リタイ

○井野國務大臣 大東亞戰爭勃發ニ依リマシテ、南方ニ於ケル赫々タル緒戰ノ戰果ノ結果、南方資源ノ開發ト云フ問題ト絡ンデ南方移民ト云フ問題ガ世間デモ色々ヤカマシク言ハレテ居リマス、又國民全般トシマシテモ、滿洲ニ行クヨリハ南ニ行ツタ方ガ仕事ハ容易デアアルシ、又生活モ安易デアアルト云フヤウナ氣持カラ、滿洲開拓移民ニ付

テノ實現性ニ付特色々ナ御心配ガアルヤウデアリマス、政府トシテモ斯ウ云ツタ事態ニ即應シマシテ、色々ノ方策ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、現在ノ移民政策ト云フモノハ、私ハ從來ノ自由移民ノ政策デアツテハナラヌト思フ、高度國防國家ノ建設ノ意味ニ於テ計畫的ナ一ツノ理念ヲ持ツタ移民デナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テ先般企畫院總裁カラ豫算總會ニ於テ南方ニ對スル諸方策ヲ明示セラレマシタ中ニ、渡航ノ制限ニ付テモ日滿支ノ建設ヲ先ツ前提トシテ、其ノ狀態ニ應ジテ南方ニ渡航ヲセシメルト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、アノ發表ハ閣議デモ御相談ヲ經テ發表デアリマシカ、内閣全體ノ意向デアリマス、結局日滿支ト云フモノヲ先ツ中心ニ考ヘテ、移民計畫モ高度國防國家建設ノ理念トセルモノヲ作ツテ、サウシテ其ノ以外ニ又南方ニ移民計畫ニ依ツテ出來上ツタ人々ヲ送り出ス、詰リ南方ノ方ハ第二段ニ考ヘテ居ル、斯ウ云フ建前ヲ政府トシテハ執ツテ居ルノデアリマス、隨テ只今御述べニナリマシタ第二次ノ滿洲開拓移民ノ計畫モ、計畫ノ内容自體ハ滿洲開拓移民ヲ作リマシタ時ト、餘リ變ツテ居ナイト思ヒマスガ、氣持ハ今日ニ於テモ滿洲開拓移民ヲ創設シマシタ當時ト何等政府トシテハ違ヒガナイノデアリマス、結局滿洲ニ立派ナ日本精神ニ燃ユル農村ヲ作り上ゲル、是ガ今日日本ノ農業移民政策ノ一ツノ一貫シタ理念デアル、斯ウ云フ建前カラ出來上ツテ居ルノデアリマシカ、今御心配ノヤウニ各地方デノ募集ニ當リマシテモ、今御述べノヤウニ氣持カラ滿洲ニ行キタガラナイ者ガアルトシマシタナラ

○松岡委員 大臣ノ御信念ニ敬意ヲ表スル

バ、私ハ是ハ國家ノ要請トシテサウ云フ氣持ハイケナイノダ、出來ルダケ一ツヤハリ日本ノ高度國防國家ヲ作ル爲ニ滿洲開拓移民ニ出テ戴キタイト云フコトヲ説キサヘスレバ、日本ノ農村ノ青年ハ能ク分ルト思フノデアリマス、隨テ豫算ニ計上シタモノニ對シテ自信ガアルト申上ゲタノモ、吾々ノ信念ヲ農村方面ノ青年ニ披瀝シテ能ク理解セシメレバ、必ズシモ南ニミ行キタイト云フ青年バカリデハナイト思フ、滿洲ニ行ツテ大イニ働キタイト云フ青年ナリ開拓民モ相當ニアルト思ヒマス、其ノ點ニ於テ只今私ノ豫算上ノ信念ヲ申上ゲタノデアリマス

ラセルマデハ國家ガ之ヲヤラウト云フ點ニ付テハ、吾々モ左様ニ希ツテ居ルノデアリマス、一般民ニモ之ヲ出來ルダケ知ラシメテ共鳴ヲ得セシメタイト念願ハシテ居ル者デアリマスケレドモ、事實ハドウダト、斯ウ云フノデス、私ハ事實ヲ言フノデス、私ノ氣持モ大臣ノ氣持モ少シモ變リナイ、過去ニ於テ頗ル難儀ヲシテ居ル、ソコヘ持ツテ行ツテ旨イオ菓子ガ前ニ見エテ居ル、サウシテソレガ今ハ渡航ヲ制限シテヤラナイト云フケレドモ、何時マデモヤラナイト云フノデヤナイ、ボルネオノ方面ニ於テモ「セレベス」方面ニ於テモ、人口ガ稀薄シ其ノ開拓ヲ待ツテ居ルノダ、「ジャワ」「マレー」方面ノ人口ノ密度ハ中々容易ニ國民ノ進出ヲ許サナイ點ガアルカモ知レナイケレドモ、人口頗ル稀薄ニシテ之ヲ待ツテ居ル所ガ澤山アル、一例ヲ申シマシテモ、樺太ニ付テハ、尙ホ國費ガアノ通りニ行カネバナ

ラス、所ガ南洋ノ統治方面ニ於テハ早クモ國費ヲ要シナイデ自給自足シテ、尙ホ餘力ヲ國家ニ貢獻シテ居ル、斯様ナ工合ニナツテ居ル、ソコヘ持ツテ行ツテサウ云フ理念ノ上ニ信念ヲ以テ國民ヲ指導シタイト云フ吾々ノ氣持ハ少シモ變ラナイケレドモ、事實以テ如何センヤト云フノデアル、殊ニ農村ガ比較的ニ生活ガ樂ニナツテ居ル、三年ヲ卒ヘタル青年義勇隊ガ歸ツテ來タ時ニ彼等ノ親ハドウスルカ、其ノ期限滿了ヲ早くモ首ヲ伸バシテ待ツテ居ルト云フヤウナ國民ガ必ズシモナイトハ言ヘナイト私ハ思フノデアリマス、而モ前ノ方ニ旨イオ菓子ガ見エテ居ルノデアル、親ノ方面カラ純ナル青年ノ氣分ヲ動カシ得ナイトハ斷シ得ナイ、斯ウ云フ問題ヲ考ヘテ來レバ來ル程、拓務當局ノ是カラノ苦心ハ洵ニ諒察ニ値スルモノガアルノデスケレドモ、ソレダカラ私ハ之ヲ聽クノダ、不用意ナル明治維新當時ニ於テ外國ノ政治ニ模倣シタガ爲ニ、日本ノ國土ノ氣候關係其ノ他ヲ少シモ考察ニ入レナイデ政治ヲヤツタモノデスカラ、トシテモナイコトニナツテ、十年バカリ私ガ雪害問題ヲ唱ヘテ、遂ニアノヤウニ修正セラレタノデアリマス、此ノヤウナ大キナ政治ノ間違ヒガドノ位國民ニ禍スルカト云フ明カナル事實ヲ、過去ニ於テ私ハ體驗シテ居ル、又拓務大臣モ此ノ事ニ付テハ能ク分ツテイラウツヤルノダ、農林當局トシテオイデニナツタ時ニ、此ノ誤ツタル狀態ヲ是正スルニ御力ヲ下サツタ、ソレガ今度又此處ニ來ヤセンカト思フノデアル、如何ニ御心持ガソコニアツテモ、サウシタイト云フ希望ガアツテモ、唯ソレダケデハイイケチ

○井野國務大臣 松岡委員ノ御心配ノ點ハ

イト思フ、何かソレヲ償フ所ノ「ハ」ンデキダブラ持タシメルヤウナ工合ニシテ、一面ニ於テハ力ニ於テ、一面ニ於テハ精神ニ於テ、兩々相俟ツテ、高度國防國家ノ爲ニハ、斯クナラザルベカラズト云フヤウナ所ニ行カシメナケレバナラヌト思フ、其ノ「ハ」ンデキダブラヲ以テ彼等ヲシテ満足セシメルヤウナ狀態ニ、開拓民ニ對スル或ハ義勇軍ニ對スル設備上ニ付テノ一ツノ福音ト云フカ、新シイ計畫ト云フカ、或ハソレ以外ノ經費、即チ滿洲國及ビ政府ト相共ニ與フル所ノ補助ノ上ニドレ位ノ差額ヲ以テヤラウトスルカ、斯ウ云フ點ニ付テ新シイ計畫時代ニ即應シタ何モノカガアツタナラバ御披露願ヒタイト思フ

全ク私共モ同ジ氣持ヲ持ツテ居リマス、此ノ仕事ハ非常ニ難カシイ、此ノ時勢ニ直面シテ愈サウ云ツタ點ニ付テ吾々其ノ職ニ當ル者ノ努力ト云フモノハ、一層重且ツ大ヲ加ヘテ來タコトト思フノデアリマス、併シハ難カシイカラト云ツテ手ヲ擧ゲテシマツカノ手段ヲ以テ此ノ國策ヲ遂行ニ邁進シナケレバナラズト思フノデアリマス、今御話ノ色々ナ難カシイ仕事ニ對シテハ、一面ニ於テハ福音ヲ與ヘ、喜ンデソチラニ導イテ行クト云フ行キ方モ一ツノ行キ方デアリマスガ、又行ク者ノ氣持ヲシテ國家ノ要請スル所ニ向ハシメルト云フ精神的ナ指導モ一ツノ行キ方デアリマス、拓務省トシマシテハ、豫算ノ上ニ於テ出來ルダケサウ云フ點モ考慮致シマシタ、併シ此ノ際直ダ多額ノ經費ヲ増シテ、補助金デ以テサウ云フ人々ノ氣持ヲ直スト云フ行キ方

ガ宜イカドウカ、其ノ點ニ付テハ私ハ俄
カニ此ノ補助金ダケ行クト云フコトニハ
贊成シ難イノデアリマス、今回計上致シマ
シテ豫算ノ中ニ、或ハ幹部指導者ノ訓練ノ
經費デアリマス、或ハ滿洲開拓士トシ
テ行カレデ居ル人々ノ細君ノ爲ノ女子ノ訓
練ノ問題デアルトカ、色々サウ云ツタ方面
ニ付テハ本年ハ相當力ヲ入レマシタ、併シ
開拓士ノ渡航費ノ補助デアルトカ云フ點ニ
付テハ、サウ豫算ハ多ク殖エテ居ナイト考
ヘテ居リマス、併シ精神的ノ方面カラ之ヲ
訓練シテ參リマス行キ方ニ對スル經費ニ付
キマシテハ、内原ノ訓練所ヲ利用シテノ色
色ノ設備デアルトカ、又其ノ他ニ付テモ經
費トシテハ相當ニ計上致シタノデアリマス
ケレドモ、松岡委員カラ見レバ、其ノ位ノ
モノデハ迎モ此ノ難事ニ向ツテ各府縣デ拓
士ヲ募集スルノニ困難ダト云フ御見透シガ
アルカモ知レマセヌガ、是ハ吾々ノ努力ニ
依ツテ出來ルダケサウ云ツタヤウナ人々ノ
募集ヲ行ヒタイト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○松岡委員 開拓要綱ノ第九ニ「開拓民ニ
對スル日滿兩國政府補助ニ付テハ現下ノ經
濟的諸條件ニ即應セシムルト共ニ、開拓地
ノ立地條件ト建設經營ノ難易等ヲ勘案シ補
助ノ適正ヲ期スルモノトス」斯ウ云フヤウニ
アリマス、私ノ得タル材料ニ於テハ是ガア
リマスニ補助ノ適正ヲ期スルモノトス「下ア
ルノデスガ、現ニ是ハ適正ニナツテ居ルカ
ドウカ、今度ノ補助ニハドノ位出サウトス
ルノカ、只今大臣ハ、金ノ方面カラ力ヲ與
ヘルコトガ宜イカドウカト云フコトハ問題
デアルカノヤウニモ私ハ拜聽致シタノデア
リマス、精神方面其ノ他ニ付テハ同感デア

リマスガ、ソレダケデハイカヌ、物ヲ與ヘ
ナケレバナラヌ、才腹ガ空イテ居ル者ニ向
ツテ、才腹ヲ空カシテ置イテ働ケト云ツタ
ツテ、是ハ出來ルモノデハナイ、世ノ中ガ
アノ通り皆金ガ取レル、而モ南ノ方ニ於テ
ハ資源ガ豊富デ、身體ヲ樂ニシテ行ケルト
云フヤウナ工合ニナツテ居ル、サウ云フモ
ノガブラ下ツテ居ルノヲ、之ヲ見ルナ、其
處ニヤラナイト云ツテ法律デヤツタ所デ、
是ハ潛ル途ガ幾ラモアルノデス、人情トシ
テ其處ニ行クノハ當然デアリマス、大東亞
共榮圈、大東亞戰爭ノ上カラ南方ガ喧傳サ
ルル、此ノ狀況ニ於テハ、今マデノ滿洲ニ
對スル國民ノ考ヘトハ相當ニ違ヒガ出ハセ
ヌカト私ハ思フ、殊ニ「ソウ、エト」ノ問題ガ
ドウナリマスカ、此處ニ於テ言フベキ必要
モアリマセヌシ、又言フベキ所デモナカラ
ウト思ヒマスガ、ドウ考ヘテモ此ノ第二次
計畫ヲ遂行スルニ於テハ、是ダケデハ如
何ニアナタ方ガ左様ニ申サレテモ私ハ洵ニ
難カシイト思フ、本當ニ難カシイ、大臣ハ
樂觀シテ居ルトハ思ヒマセヌケレドモ、末
梢ノ方ノ各縣ニ行ツテ御覽ナサイ、容易ナ
モノデナイ、吾々ハ北ヲ護ルノガ任務デア
ル、志スナ、吾々ハ北ヲ護ルノガ任務デア
ル、天ノ與ヘタルモノデア
ル、浮氣ヲ起スナト
云フコトヲ私ハ、教ヘテ居リマス、私ノ所ノモ
ノハ相當ニ成績ヲ擧ゲテ、義勇軍ノ送出ノ
上ニ於テ或ハ開拓民ノ送出ノ上ニ於テヤツ
テ居リマスガ、吾々滿洲ニ行ツタ者ハ實ニ
馬鹿ヲ見タト云フヤウナ氣持ヲ起サセナイ
ヤウニスル爲ニハ、餘程前ト考ヘテ異ニシ
タモノガ現ハレテ來ナケレバイカヌト私ハ
思フ、ソレガマダ現ハレテ居ラナイヤウニ
思フ、私ノ得タル材料ニ依レバ、衛生費ニ於

テハ前ニハ一圓五十錢位デアツタガ、今度
一圓六十七錢ニナツテ居ルヤウデアリマス、
一年ニ一人前十七錢ダケ多クナツテ居ル、
又被服費ガ昨年ハ七十圓與ヘテ居タモノガ、
今度ハ八十五圓與ヘテアル、今日ノヤウナ
狀態ニ於テ十五圓ダケ多クナツテ、サウシ
テ南方ニアレ程マデニ旨イモノヲ見セテ置
イテ、北ノ方ニ是デ行ケト云ヒマシテモ、
是ガ出來ルト思ヒマスカ、私ハ出來ナイト
思フ、コンナコトデ行ケルモノデナイ、ソ
レデスカラ、今年ハ仕方ガナイケレドモ、
明年ニ於テハドウ云フ御考ヘテ御持チニナ
ルカト云フ點ヲ承ルコトガ出來マスレバ結
構ダト思ヒマス

○今吉政府委員 便宜私カラ御答ヘ申上
ゲマス、第二期五箇年計畫ガ閣議決定致シ
マシタノガ昨年ノ十二月三十一日デゴザイ
マス、要綱トシテ十三項目擧ゲテアリマス
ガ、是等ニ付テ遂次實現ヲシタイト云フ氣
持デ居リマシタケレドモ、何分時日ガ切迫
シテ居リマシタ關係デ、其ノ項目ノ中デ日
本側ノミニ於テ考ヘ得ルモノハ豫算ニ計上
シテ多少トモ考ヘテアルノデアリマス、先
刻大臣カラ御話ノゴザイマシタ通り、女子
拓殖訓練所ノ專任職員設置費補助、指導員
養成ノ爲ノ補助二十萬圓、地方機構ノ充實
ノ爲ニ地方廳ニ拓務課ヲ設ケル、ソレカラ
拓務主事ヲ十六名新タニ各地方ニ置クヤウ
ニ致シマシタ、其ノ他宣傳獎勵諸事業費ノ
關係ニ於キマシテモ、全部集メマシテ大體
約三十萬圓見當ノモノヲ増額シタノデアリ
マス、斯様ニアノ項目ノ中デ日本側ノミニ
於テ考ヘ得ルモノハ先ツ考ヘタノデゴザイ
マスガ、併シナガラ先刻御示シノ、例ヘバ
經濟的諸條件ニ即應スルヤウ補助ノ適正ヲ

期スルヤウニ努力スルト云フ項目ガゴザイ
マシタケレドモ、何分ニモ補助ハ日滿兩國
ノ關係デアリマスノデ、明年度ノ豫算ニ直
チニ之ヲ計上スル譯ニモ參リマセヌ、隨テ
今後第二期五箇年計畫遂行ノ上ニ於キマシ
テ、日滿兩國ニ於テ能ク相談シテヤルベキ
事項ニ付キマシテハ、現ニ滿洲國側ニ於テ
委員會ヲ設ケマシテ、日本側ノ方モ之ニ加
ハリマシテ、ココ一年間詳細ニ檢討シタ上
ニ於キマシテ、改メテ再來年度ノ豫算ニ於
テ計上スベキモノハ計上スルト云フ行キ方
ヲ以テ、此ノ五箇年計畫ノ遂行ヲ圖リタイ
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松岡委員 私ガ先程一年ニ十七錢ト云ツ
タノハ、一月十七錢デシタカラ、是ハ訂正
致シテ置キマス、詰リ一人ニ付テ一年ニ衛
生費ヲ僅カ二圓ダケ増加スル、サウスルト
義勇軍ガ一万ソコ、デスカラ、丁度二
十萬圓ヲ増加ニナツタ、實ニコンナ慘憺タ
ルモノデ、高度國防國家ノ爲ニ滿洲ガ必要
ナリトスル時ニ、是デ行ケルモノデナイ、
私ハ是レ以上申上ゲマセヌガ、現地ヲ見レ
バ見ル程其ノ感ヲ深クスルノデア
ル、氣候
風土、風俗、悉ク同ジデア
ルカラ、東北ニ
生レタモノハ北ヲ天職トシテ此處ニ就クノ
ガ當然デア
ルカラ、浮氣
心ヲ起サナイ
デ北
ニ行ケト云
フコトヲ私
ナドハ言ツ
テ居ルダ
ケニ、其ノ
責任ガ強
イト思フ、
私ガ言フ
ノ
ハ單ナル
考ヘカラ
出テ居ル
ノデア
リマセ
ヌ、モウ
一ツハ、
北ノ方ハ
春夏秋冬
ガアル、
人間ガ特
ニ縮リガ
宜イ、南
ノ方ニ參
リマス
ト一年中
樂ニ暮セ
ルヤウナ
工合ニナ
ツテ居
ル、春夏
秋冬ノ切
目ガナイ
ト云フコ
トヲ言
フ、或ハ
二世三世
ニナルト
國民トシ
テノ資
格ノ上ニ
於テハ、
ドウデア
ルカト云
フ説ヲ

格ノ上ニ於テハ、ドウデア
ルカト云フ説ヲ

ナス人ガアリマスルケレドモ、私ハ其ノ意味
カラ申スノデハアリマセヌ、サウ云フ點デ
南方ニ是カラ送出スルニ付テモ發展スル
上ニ付テモ國家ノ指導ガ左様ナニ世、三世
ニ於テ國民トシテノ資質ヲ缺カシテ居ルヤ
ウナコトニハナラナイヤウニ努ムルコトハ
勿論デアリマスルカラ、是ハ申シマセヌケ
レドモ、本當ニ北ハ高度國防國家ノ必要ガ
アル、國策ノ上カラ云ツテモドウシテモ之
ヲ爲サネバナラスト云フ左程熱意ヲ持ツモ
ノデアルトシタナラバ是ガ豫算ニ現ハレテ
來ナケレバ、噓デアル、掛聲バカリデハイケ
ナイノデアアル、私ガ此ノ掛聲ダケデハイケ
ナイト云フコトヲ特ニ茲ニ申上ゲルノハ、
只今政府委員ノ御答辯ノヤウニ、是ハ滿洲
國ト相計ツテ而シテ爲サネバナラスト云フ
ノデスカラ一方的ニ意思表示ハ難シイカモ
知レヌケレドモ、國家トシテ重要ナル此ノ
問題ニ付テハ、モウ少シ滿洲ニ向ツテ進マ
ウトシテ居ル所ノ氣分ヲ無クサナイヤウ
ニ、之ヲ活カシテ行クヤウニ、私ノ質問ガ
好イ機會デスカラ、之ヲ機會トシテ國家ノ
向フベキ所ヲハツキリト示シテ、南ノ方ニ
ソシテニ關心ヲ持ツベキモノデハナイ、ソ
レヨリモ、モツト大切ナノハ北デアルト云
フコトヲ國務大臣トシテ、國民ニ十分ニ知
ラシテ戴キタイト思フノデアリマス、サウ
スレバ、漸ク各府縣、各町村ノ人々ガソレ
ナラバヤラウヂヤナイカト云フコトニナ
ル、今朝私ノ所ニ參リマシタ町村長ナド
ハ、先生全ク其ノ通りダ、今マデ滿洲ノ視
察ニ行ツタガ、今度ハ南ダ、モウ滿洲ハ止
メヨウヂヤナイカ、斯ウ云フ者ガ不用意ニ
出テ困ツテ居ルト云フヤウナ話デアル、ソ
コデ拓務當局トシテ此ノ問題ヲ國策トシテ

遂行スル上ニ付テハ、人的資源ノ不足ナ今
日ニ於テ、各方面ノ困難ナ中ニ於テ之ヲ遂
行シナケレバナラヌノデアリマスルカラ、
今少シ豫算上ニ於テモ政府ノ方針ガ、其處
ニ決マリマスレバ國策ニ順應シテヤツテ行
ケルヂヤナイカ、私ノ此ノ衷心國家ノ前途
ヲ憂ヘテノ發言ニ對シテ好イ機會ナリトシ
テ、國民ノ向フ所ヲ大臣カラ特ニ明示シテ
戴キタイト思フノデアリマス、即チ開拓要
綱ノ第九項ニモ「現下ノ經濟的諸條件ニ即應
セシムルト共ニ、開拓地ノ立地條件ト建設經
營ノ難易等ヲ勘案シ補助ノ適正ヲ期スルモ
トス」ト云フコトガアルノデスカラ、近ク
是等ニ付テハ適正ノコトヲスルノダ、滿洲
事變直後ニ於テ定メタモノハモウ五十年モ
時代ガ隔ツテ非常ナ急「テンポ」ニ變ツタノ
ダカラ、之ニ即應スルガ如ク「ス」ニスル
方針ダト云フコトヲ、國民ニ明示シテ戴ク
實ニ好イ機會ヂヤナイカト思ヒマスカラ、
繰返シテ御願ヒ申上ゲマス

○井野國務大臣 松岡委員ノ滿洲開拓移民
ニ對スル熱心ナル御所見ニ對シマシテハ、
私モ滿腹ノ贊意ヲ表スルノデアリマス、國
民ニ向ツテ御趣旨ノヤウナ點ニ付テハ私ト
シテモ極力明示シ、指導シテ參ラナケレバ
ナラヌト思ヒマス、ソレダケノ御議論ニハ
私自身ハ全ク同感デアリマス、唯豫算關係
等ニ付キマシテハ折角是ハ大藏省ノ委員會
デアリマスカラ、大藏省ノ人ニモ能クアナ
タノ氣持ヲ御傳ヘ願ツテ、吾々ガ豫算ヲ要
求スル場合ニ於テハ大藏省當局ガアタノ
所信ヲ能ク認識スルヤウニ、サウ云フ點ハ
松岡サンモ能ク御承知デアリマスカラ拔カ
リノナイヤウニ一ツ御願ヒ致シタイト思ヒ
マス

○松岡委員 先程申上ゲマスルヤウニ、猫
モチ子モ南々ト言ツテ實際ニ此ノ重要性ヲ
忘レントスル其ノ時ニ於テ、拓務大臣ハ全
ク同感ダケレドモ、大藏省ノ方ニ於テモ認
識セシメルヤウニ云々ト云フコトヲ承リマ
シテ、私モ是カラ大イニ努力ハシマスケレド
モ、是ハ國務大臣ガナサレルコトデアアル、
總理大臣ト此ノ點ニ付テハ十分ニ御協力ヲ
御願ヒ致シマシテ、眞劍ニキラナケレバヤ
レルモノデハナイト思フ、ケレドモアタ
方ハヤレルト言ヒマスカラ私ハヤレルトセ
ザルヲ得ナイ、併シナガラ是デハヤレナイ
ト私ハ思ツテ居ル、サウデナクテサヘモ種
種ナル故障ガ起ツテ居ル、私ハ是デ質問ヲ
終リマスガ、此ノ問題ハ後日ニ禍ヒヲ殘ス
問題デ、水ノ低キニ流レル當然ナ所ヲ逆ニ
持ツテ行クノデスカラ「モーター」ガナケレ
バナラス、此ノ「モーター」ヲ要スル「ハン
デギヤツ」ヲ唯精神的バカリデヤラウト
サレルケレドモソレデハイケナイ、ドウシ
テモ豫算デス、此ノ豫算ヲシツカリト持ツ
テ行ツテ、補助ヲ増額スルナリ、種々ナル
設備ニ依ツテ満足ヲ得セシムルヤウニ導イ
テ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、
私ノ所見ト全然御同感ノヤウデアリマスカ
ラ、拓務大臣ヨリ國務大臣トシテノ御答辯
ヲ得マシタコトヲ私ハ喜ンデ、安心シテ暫
ク當局ノ爲ス所ヲ見タイト思フ次第デアリ
マス、私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○井野國務大臣 只今私申上ゲタノハ、無
論國務大臣トシテハ閣内ニアリマシテ私ノ
所信ヲ大藏大臣ナリ、總理大臣ナリニ披瀝
シテ實行のニ自分トシテ努力スルコトハ當
然デアリマス、唯吾々ノ意見ト、又民間ノ
方々ノ意見ト自ラ聽ク人ニ依ツテ色々效果

ガ違ヒマスカラ、折角立派ナ御意見ヲ御持
チニナツテ居ラレマスカラ、ヤハリ吾々ニ
聽カシテ戴ク御意見ハ、他ノ大臣ニモ御聽
カセ願ヒマスレバ、大變參考ニナルト思ヒ
マシテ申上ゲタノデゴザイマシテ、決シテ
豫算ヲ取ルコトニ付テ御援助ヲ御願ヒシタ
イト云フノデ申上ゲタノデアリマセヌ、
ドウカ誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス

○守屋委員 他ニ質疑ヲナサル方ハアリ
マセヌカ、拓務大臣ヘノ質疑ハ是デ宜イデ
スカ、田代君、保險院ノ政府委員ニ對スル
質疑ハドウシマスガ

○田代委員 ホンノ一寸デスカラ政府委員
ヲ呼ンデ下サイ

○守屋委員 ソレデハ政府委員ヲ呼ビニ
ヤリマス、暫ク御待チ下サイ——田代君ノ申
出ニ依ツテ保險院ノ政府委員ヲ探ガシタノ
デアリマスガ、居ラスヤウデアリマス、本日
ハ外ニ臨時軍事費豫算ニ關スル本會議モゴ
ザイマスカラ、本委員會ニ於ケル會議ハ此
ノ程度ニ止メマシテ、明日ハ午後一時カラ
開會スルコトニ致シマス、是ニテ散會致シ
マス

午後二時四十分散會

第六類第一號 委員會議錄 第四回 昭和十七年一月二十七日
昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那專變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件

昭和十七年一月二十八日印刷

昭和十七年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局